

## 《 資 料 》

### 目 次

1	歴代教育委員等一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	69
2	各種委員・・・・・・・・・・・・・・・・	71
3	学校教育関係団体一覧・・・・・・・・	76
4	市立教育施設一覧・・・・・・・・	77
5	幼稚園・・・・・・・・	79
6	小学校・・・・・・・・	80
7	中学校・・・・・・・・	95
8	市立学校の統廃合、新設、分離の状況・・・・	105
9	市立教育施設の状況・・・・・・・・	107
10	年度別義務教育施設等の整備状況・・・・	108
11	園児・児童・生徒・学級数等一覧・・・・	109
12	教員・児童・生徒数の推移・・・・・・・・	112
13	特別支援学級設置状況の推移・・・・	112
14	いじめ・不登校の推移・・・・・・・・	113
15	社会教育関係施設一覧・・・・・・・・	114
16	指定文化財一覧・・・・・・・・	115
17	国登録文化財一覧・・・・・・・・	117
18	社会教育施設利用状況・・・・・・・・	118
19	文化財公開状況・・・・・・・・	118
20	図書館運営実績・・・・・・・・	119
21	歴史図書館運営実績・・・・・・・・	122
22	公民館施設等利用状況・・・・・・・・	124
23	地区公民館受託管理施設利用状況(体育施設)・	125
24	市民文化会館事業実績・・・・・・・・	127
25	青少年健全育成センター等施設一覧・・・・	128
26	青少年健全育成センター等利用状況・・・・	129
27	補導活動の状況・・・・・・・・	129



## 1 歴代教育委員等一覧

氏名	期間
原 清七	S27.11.1 ~ S31.9.30
酒井 環	S27.11.1 ~ S31.9.30
高橋 規策	S27.11.1 ~ S30.4.17
中野 林八	S27.11.1 ~ S31.9.30
吉田 重男	S27.11.1 ~ S32.4.30
関 久	S27.11.1 ~ S38.1.5
大沼 藤雄	S30.4.1 ~ S31.9.30
湯浅 順次	S30.4.1 ~ S31.9.30
肥田野才之丈	S30.4.1 ~ S31.9.30
加藤 清吉	S30.4.1 ~ S31.9.30
田卷 精二	S30.4.1 ~ S31.9.30
森 俊童	S30.4.1 ~ S31.9.30
佐藤 精一	S30.4.1 ~ S31.9.30
肥田野 文治	S31.10.4 ~ S34.6.29
高沢 敬信	S31.10.4 ~ S37.10.5
増田 大秀	S31.10.4 ~ S37.5.12
川瀬 新太郎	S32.5.20 ~ S34.10.3
栗林 米造	S34.6.30 ~ S41.3.31
梨本 彦一郎	S34.10.30 ~ S38.10.28
戸石 政恕	S37.9.29 ~ S43.10.3
井上 美一郎	S37.10.5 ~ S45.10.3
高沢 哲史	S38.7.9 ~ S48.10.3
石山 平四郎	S38.12.19 ~ S46.12.18
大森 清太郎	S41.4.1 ~ S43.10.3
阿部 修一	S43.10.4 ~ S51.10.3
吉田 久平	S44.3.1 ~ S52.2.28
北条 文雄	S46.6.29 ~ S52.11.30
渡辺 義平	S46.12.24 ~ S54.3.31
宮村 太郎	S50.6.27 ~ S54.6.26
尾谷 新三	S51.12.15 ~ S58.7.27
高橋 恂三郎	S52.3.5 ~ S60.3.4
山口 哲夫	S53.3.3 ~ S54.6.28
高橋 剛	S54.6.29 ~ S62.6.28
佐藤 泰彦	S54.6.28 ~ S62.6.27
本間 不二夫	S54.12.24 ~ S62.12.23

氏名	期間
熊倉 竜夫	S58.9.13 ~ S63.12.14
渡辺 秀晃	S61.4.1 ~ H6.3.31
長谷川真智子	S62.6.29 ~ H7.6.28
桂 重房	S62.6.28 ~ H7.6.27
斉藤 斌	S62.12.24 ~ H7.12.23
内山 格	S62.12.15 ~ H8.12.14
鈴木 明夫	H6.4.1 ~ H11.3.31
佐久間明 三	H7.6.29 ~ H15.6.28
中村 弘正	H7.6.29 ~ H15.6.28
樋口 義健	H7.12.24 ~ H11.12.23
桂 宏	H8.12.15 ~ H17.7.6
白井 茂夫	H11.4.1 ~ H15.6.30
増子 哲夫	H11.12.14 ~ H15.12.23
大久保 久	H15.6.29 ~ H19.6.28
大滝 昇	H15.7.1 ~ H22.11.30
関根 信行	H15.7.7 ~ H17.7.6
高山 威彦	H16.4.1 ~ H20.3.31
小泉 茂	H17.7.7 ~ H19.7.6
中野 俊	H17.7.7 ~ H19.6.30
山田 真嗣	H19.7.1 ~ H23.3.31
中村 直美	H19.7.7 ~ H23.7.6
今井 延子	H19.6.29 ~ H23.6.28
岸本 正智	H20.4.1 ~ H24.3.31
塚野 純一	H22.12.27 ~ H25.2.28
鈴木 佳秀	H23.4.1 ~ H27.3.31
籠島 由美子	H23.7.7 ~ H27.7.6
外山 陽子	H23.6.29 ~ H29.3.31
大山 康一	H25.3.8 ~ H27.3.31
小池 庸子	H29.4.1 ~ R2.3.31
関川 直	H24.4.1 ~
桑原 ヒサ子	H27.4.1 ~
笠原 恭子	H27.7.7 ~
村川 孝子	R2.4.1 ~

## 歴代教育委員長

氏名	期間
原 清七	S27.11.1 ~ S29.11.14
高橋 規策	S29.11.15 ~ S30.4.17
吉田 重男	S30.4.18 ~ S31.10.3
関 久	S31.10.4 ~ S37.10.4
梨本 彦一郎	S37.10.16 ~ S38.10.28
戸石 政恕	S38.11.11 ~ S43.10.3
井上 美一郎	S43.10.7 ~ S45.10.3
吉田 久平	S45.10.9 ~ S46.10.8
	S48.10.4 ~ S50.10.3
高沢 哲史	S46.10.11 ~ S48.10.3
北条 文雄	S50.10.4 ~ S52.11.16
高橋 恂三郎	S52.11.17 ~ S54.3.21
尾谷 新三	S54.3.22 ~ S58.7.27
佐藤 泰彦	S58.8.10 ~ S62.6.27
本間 不二夫	S62.6.28 ~ S62.12.23
斉藤 斌	S62.12.28 ~ H7.12.23
中村 弘正	H7.12.26 ~ H15.6.28
大久保 久	H15.6.29 ~ H19.6.28
山田 真嗣	H19.7.11 ~ H22.12.16
岸本 正智	H22.12.17 ~ H24.3.31
関川 直	H24.4.6 ~ H27.3.31

## 歴代教育長

氏名	期間
酒井 環	S27.11.1 ~ S31.9.30
肥田野 文治	S31.10.4 ~ S34.6.29
栗林 米造	S34.6.30 ~ S41.3.31
石山 平四郎	S41.4.1 ~ S46.12.18
吉田 久平	S47.1.1 ~ S47.7.31
渡辺 義平	S47.8.1 ~ S54.3.31
高橋 恂三郎	S54.4.1 ~ S60.3.4
本間 不二夫	S60.4.1 ~ S62.3.31
渡辺 秀晃	S62.4.1 ~ H6.3.31
鈴木 明夫	H6.4.2 ~ H11.3.31
白井 茂夫	H11.4.1 ~ H15.6.30
大滝 昇	H15.7.1 ~ H22.11.30
塚野 純一	H22.12.27 ~ H25.2.28
大山 康一	H25.3.8 ~ H27.3.31

## 新教育委員会制度（平成27年4月改正）施行後

氏名	期間
大山 康一	H27.4.1 ~ H30.3.31
山田 亮一	H30.4.1 ~ H30.10.17
工藤 ひとし	H31.4.1 ~

## 2 各種委員

### (1) 新発田市同和教育推進協議会委員

(任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日)

選出区分	氏名	備考
第1号委員 (学識経験者)	小池 庸子	
	小柳 龍史	
	高橋 加代子	
	村岡 一人	
	大川原さとみ	
	寺尾 ちはる	
	渡辺 睦夫	
	井畑 悦子	
	本間 栄一	
第2号委員 (小中学校長・高等学校長)	天井 弘	住吉小学校長
	中野 隆一	七葉小学校長
	本間 道夫	猿橋中学校長
	野澤 一吉	七葉中学校長
	藤井 聡	御免町小学校長 (小学校長会長)
	萩野 喜弘	第一中学校長 (中学校長会長)
	灰野 正宏	新発田高等学校長
第3号委員 (社会教育関係団体役員)	井上 ヤヨイ	新発田女性会議
	須貝 遼	小・中学校PTA連合会
第4号委員 (行政関係職員)	佐久間 康	人権啓発課長
	小野沢 謙一	学校教育課長

### (2) 新発田市いじめ防止対策等に関する委員会委員

(任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日)

氏名	専門分野	備考
中川 雅博	法律	弁護士
有田 正知	精神保健	医師
伊藤 信行	社会福祉	新潟県新発田地域振興局健康福祉環境部 児童・障害者相談センター所長
猪俣 博英	教育	元・中学校校長
寺野 徹	社会福祉	新発田市社会福祉協議会事務局長
櫻井 悦子	青少年健全育成	青少年健全育成センター所長

## (3) 新発田市文化財調査審議会委員

(任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日)

	氏名	専門分野	備考
学識経験者	伊藤 喜行	歴史	新発田郷土研究会会員
	大沼 長栄	歴史・古文書	新発田古文書解読研修会会長
	佐藤 榮征	歴史・古文書	新発田郷土研究会会員
	鈴木 耕一	歴史・古文書	紫雲寺古文書の会会長
	時田 一雄	建造物	元短期大学校教授
	松川 滋子	美術・工芸	工芸作家、元美術教師
	宮崎 芳春	民俗・考古	元博物館館長
	若林 泰子	美術	市内美術協会会員

## (4) 新発田市立図書館協議会委員

(任期：令和3年7月1日～令和5年6月30日)

選出区分	氏名	備考
学校教育関係	長井 稔	川東中学校長
	齋藤 博敏	佐々木小学校長
社会教育関係	加藤 康雄	社会教育委員
	芦田 隆	公民館運営審議会委員
家庭教育の向上に資する活動を行う者	中野 富江	加治川読書クラブ会長
	森谷 リツ子	おはなしのとびら代表
学識経験者	高澤 健爾	新発田商工会議所専務理事
	富川 尚	敬和学園大学教授
	高橋 則子	新発田市立図書館利用者友の会
	前田 恵子	新発田古文書解読研修会幹事

## (5) 新発田市社会教育委員

(任期：令和3年6月1日～令和5年5月31日)

氏名	法区分	備考
岡崎 功一	学校教育関係者	新発田市小学校長会
大滝 健	学校教育関係者	新発田市中学校長会
桐生 正栄	社会教育関係者	新発田市子ども連合会
渡邊 定雄	社会教育関係者	青少年育成等
大久保 美幸	家庭教育	新発田国際交流委員会かけはし
加藤 康雄	学識経験者	前新潟県社会教育委員
富川 尚	学識経験者	敬和学園大学（人文学部教授）
淡路 勲	学識経験者	社会教育主事
森 文雄	学識経験者	公募
清野 敏子	学識経験者	公募

## (6) 新発田市公民館運営審議会委員

(令和3年6月1日～令和5年5月31日)

氏名	法区分	備考
小池 秀樹	学校教育関係者	小学校長会
伊藤 啓子	社会教育関係者	文化団体
鈴木 光子	家庭教育	家庭育成・子育て等
若林 泰子	学識経験者	公民館利用者
木滑 二十子	学識経験者	公民館利用者
中村 明	学識経験者	公民館利用者
芦田 隆	学識経験者	元紫雲寺地区公民館長
平野 マリ子	学識経験者	公民館利用者

## (7) 新発田市民文化会館運営審議会委員

(令和2年4月1日～令和4年3月31日)

選出区分	氏名	備考
文化団体の代表者	五十嵐 ミネ	豊浦地区文化団体
	増田 千穂子	紫雲寺地区文化団体
社会教育関係団体の代表者	井上 隆	ミュージックファンクラブ
	小島 慎二	新発田ジャズ倶楽部
	石川 美佐子	新発田市合唱連盟
	能仲 咲子	ファイア・オ・カフラしばた教室
	渡辺 千鶴	スタジオ・ブルー
知識経験を有する者	大滝 健	佐々木中学校長
	中野 隆一	七葉小学校長
関係行政機関の職員	山口 隆	新発田地域広域事務組合

## (8) 新発田市青少年問題協議会委員

(令和3年度)

選出区分	氏名	備考
会長(市長)	二階堂 馨	新発田市長
1号委員(副市長)	伊藤 純一	新発田市副市長
2号委員(教育長)	工藤 ひとし	新発田市教育長
3号委員(関係行政機関の長)4名	増田 久夫	新発田警察署長
	中山 均	新発田地域振興局健康福祉環境部長
	大滝 晃	新潟地方法務局新発田支局長
	伊藤 信行	新発田児童相談所長
4号委員(学識経験者)10名	保坂 哲	西新発田高等学校長(高等学校長会)
	新保 英博	新発田市立東中学校長(中学校長会)
	阿部 英幸	新発田市立豊浦小学校長(小学校長会)
	小出 隆一	新発田青少年健全育成市民会議会長
	寺野 徹	新発田市自治会連合会副会長
	井澤 栄一郎	新発田市小中学校PTA連合会理事
	今井 眞津子	新発田市少年補導委員会副会長
	高橋 次夫	新発田市民生委員児童委員連合会長
	皆川 美枝	豊浦地区青少年健全育成協議会評議員
	大和 里子	紫雲寺地区青少年健全育成協議会運営委員

## (9) 新発田市青少年健全育成センター運営審議会委員

(令和3年度)

選出区分	氏名	備考
1号委員(関係行政機関の職員)2名	清野 純一	新発田警察署生活安全課長
	清野 晴美	新発田地域振興局健康福祉環境部副部長
2号委員(関係団体の役員)5名	桑野 孝章	新発田青年会議所副理事長
	若杉 智代子	新発田市小中学校PTA連合会理事
	小出 隆一	新発田青少年健全育成市民会議会長
	今井 眞津子	新発田市少年補導委員会副会長
	櫻井 賢七	新発田地区交通安全協会会長
3号委員(学識経験者)3名	片桐 隆	新発田市自治会連合会長
	菅 チェ	紫雲寺地区青少年健全育成協議会運営委員
	大川原さとみ	しばた虹っ子クラブ会長
4号委員(小中学校・高等学校の校長 または教頭)2名	星 涉	加治川中学校長
	保坂 哲	新潟県西新発田高等学校長
5号委員(児童民生委員)2名	高橋 次夫	新発田市民生委員児童委員連合会長
	栗山 弥生	新発田市民生委員児童委員連合会児童副部長
6号委員(社会福祉協議会の役員)	田中 利光	新発田市社会福祉協議会副会長

## (10) 新発田市少年補導委員会委員

(令和3年度)

	氏名	備考		氏名	備考
1	今井眞津子		21	中川聖也	外ヶ輪小
2	坂田キミ		22	近藤栄子	猿橋小
3	熊谷千恵子		23	高澤元	御免町小
4	澤村陽一		24	小柳純一	二葉小
5	斉藤博司		25	松崎文美	東小
6	渡邊文代		26	山田庸平	住吉小
7	桐生正栄		27	内田良市	東豊小
8	山口幸雄		28	五十嵐匠	本丸中
9	畠山孝三郎		29	高柳竜司	第一中
10	田代隆子		30	緒形建策	猿橋中
11	三部武三		31	小林寿	東中
12	渡邊悟		32	加藤育志	豊浦中
13	中山真由美		33	五十嵐良亨	紫雲寺中
14	藤間淑則		34	石井仁	加治川中
15	齋藤富美子		35	渡邊敏行	新発田高
16	福島清行		36	大谷隆史	西新発田高
17	渡辺かな		37	角田憲一	新発田南高
18	清野敏子		38	堀内一徳	新発田農高
19	矢川安子		39	難波克栄	新発田商高
20	池戸理		40	石黒吉晴	新発田中央高

### 3 学校教育関係団体一覧

団体名	代表者氏名	事務局	
		所在地	幹事氏名
新発田市小学校長会	藤井 聡	外ヶ輪小学校	井上 正裕
		猿橋小学校	澁谷 一男
		二葉小学校	鈴木 正彦
		東小学校	小坂井 博
		川東小学校	岡崎 功一
		東豊小学校	飯塚 進
		藤塚小学校	関川 紀美子
新発田市中学校長会	萩野 喜弘	七葉中学校	野澤 一吉
新発田市小学校教頭会	鈴木 真史	猿橋小学校	高山 雄一
		紫雲寺小学校	大石 靖範
新発田市中学校教頭会	今野 由紀子	第一中学校	丸山 久志
		猿橋中学校	清野 正康
新発田市立学校教育研究協議会	澁谷 一男	猿橋小学校	高山 雄一
新発田市立幼稚園教育研究会	加藤 直美	御免町幼稚園	加藤 直美
新発田市小学校教育研究会	井上 正裕	外ヶ輪小学校	吉田 直彦
新発田市中学校教育研究会	本間 道夫	猿橋中学校	清野 正康
新発田市小学校体育連盟	飯塚 進	東豊小学校	佐藤 俊介
新発田市中学校体育連盟	三浦 学	本丸中学校	塩原 史典
新発田地区学校警察等連絡協議会	新保 英博	東中学校	小林 寿
新発田市小学校図書館協議会	齋藤 博敏	佐々木小学校	畠山 千春
新発田市中学校図書館協議会	長井 稔	川東中学校	片山 真美
三市北蒲原郡特別支援教育推進地区協議会	工藤 ひとし	市教委事務局	藤原 靖也
新発田市特別支援教育推進委員会	工藤 ひとし	市教委事務局	藤原 靖也
学校保健会新発田支部	萩野 喜弘	市教委事務局	小野沢 謙一
新発田市学校給食運営協議会	関川 紀美子	市教委事務局	笹木 美智子
三市北蒲原郡地区理科教育センター	森谷 優子	生涯学習センター	高橋 弘幸
新発田教科書センター	小野沢 謙一	市教委事務局	角 直浩
新発田市小・中学校PTA連合会	渡邊 未佳	東小学校	中山 久司
新発田市教育支援委員会	工藤 ひとし	市教委事務局	藤原 靖也
新発田市同和教育推進協議会	小池 庸子	市教委事務局	江端 美穂

#### 4 市立教育施設一覧

##### 幼稚園

(R3.5.1現在)

学番	学校名	所在地	電話番号	学級数	園長氏名	副園長氏名
1	ごめんまち 御免町幼稚園	大栄町4-5-17	22-4536	3	加藤 直美	—

##### 小学校

(R3.5.1現在)

学番	学校名	所在地	電話番号	学級数	校長氏名	教頭氏名
1	とがわ 外ヶ輪小学校	中央町5-8-9	22-2549	16	井上 正裕	吉田 直彦
2	さるはし 猿橋小学校	中曽根町3-8-29	22-2123	32	澁谷 一男	高山 雄一 太田 裕樹
3	ごめんまち 御免町小学校	大栄町4-5-33	22-2216	25	藤井 聡	佐藤 健
4	ふたば 二葉小学校	中田町3-6-1	22-2164	15	鈴木 正彦	中野 史子
5	ひがし 東小学校	五十公野4862	22-3641	18	小坂井 博	中山 久司
6	かわひがし 川東小学校	下羽津1938	25-2009	10	岡崎 功一	富田 一志
7	ななは 七葉小学校	黒岩66	29-3305	16	中野 隆一	脇川 恭子
8	ささき 佐々木小学校	則清856	27-2011	8	齋藤 博敏	加藤 義隆
9	すみよし 住吉小学校	住吉町3-6-22	24-1148	31	天井 弘	白井 政之
10	とうほう 東豊小学校	東新町4-10-8	23-5075	23	飯塚 進	鈴木 真史
11	とよら 豊浦小学校	大伝465-2	22-2034	15	阿部 英幸	尾矢 貞雄
12	しうんじ 紫雲寺小学校	稲荷岡2389	41-2022	8	濱田 浩昭	大石 康範
13	よねこ 米子小学校	真野原外1773	41-2036	7	小池 秀樹	本保 真由美
14	ふじつか 藤塚小学校	藤塚浜4063-3	41-2073	8	関川 紀美子	平野 秀穂
15	かじかわ 加治川小学校	上今泉366-1	33-2435	14	安澤 たい子	平井 涼

中 学 校

(R3.5.1現在)

学番	学校名	所在地	電話番号	学級数	校長氏名	教頭氏名
1	ほんまる 本丸中学校	緑町2-7-22	22-2525	20	三浦 学	高橋 秀明
2	だいいち 第一中学校	御幸町4-5-25	23-1151	14	萩野 喜弘	丸山 久志
3	さるはし 猿橋中学校	住吉町1-7-1	23-1175	24	本間 道夫	清野 正康
4	ひがし 東中学校	五十公野4981	22-3824	10	新保 英博	小野 俊巳
5	かわひがし 川東中学校	下羽津1566-1	25-2011	5	長井 稔	金谷 良弓
6	ななは 七葉中学校	上館乙84-2	22-3524	7	野澤 一吉	今野 由紀子
7	ささき 佐々木中学校	則清102	27-2505	4	大滝 健	笹木 綾子
8	とよら 豊浦中学校	乙次50	24-4492	8	伊藤 雅哉	山本 亘
9	しうんじ 紫雲寺中学校	真野原外3499	41-4000	8	山田 清	新井 達夫
10	かじかわ 加治川中学校	川口330	33-2214	8	星 涉	藤原 明



# 御免町幼稚園

住 所 新発田市大栄町4丁目5番17号

TEL 0254-22-4536

FAX 0254-22-4937

## 1 園の概要

(1) 創立 昭和42年 4月 1日

(2) 教職員



園長 加藤 直美

教諭	5	養護教諭		事務職員	
講師		学習補助員			
介助員	2	用務手	1		
預かり	1				

(3) 学級編制

学年	未満児	3歳児	4歳児	5歳児	計
学級数		1	1	1	3
男		3	9	6	18
女		4	4	13	21
計	0	7	13	19	39

## 2 地域の概要

- 市街地に近く住宅地にある。御免町小学校に隣接しており小学校の取り組みを目にすることができる環境にある。
- 南公園にも近く、散歩に行き四季折々の変化を感じながら十分に身体を動かしたり、地域住民の方と挨拶を交わしながら関わったりしている。
- 園児数が減少しているが、保護者や地域住民は幼稚園教育に関心が高く協力的である。

## 3 教育目標

- みんなと仲良く遊び、自分の力を伸ばしていく子ども

## 4 園の課題（伸ばしたいところ）

- 人とかかわる力の育成
  - ・自分から気持ちよい挨拶をする。
  - ・先生や友達と一緒に好きな遊びに十分取り組む。
  - ・一人一人の良さを発揮し、互いのよさに気づき、認め合う。
  - ・様々な感情体験をする。
  - ・遊びや活動の中で、感動や思い、考えたことを言葉で表す。
  - ・思いを伝え合ったり受け入れたりしながら、友達と協同して遊ぶ。

## 5 園の経営方針

### ○職員の基本姿勢

- ・職員一人一人が主体的、創造的に園務遂行に当たる。和と協力を大切にし、協同の力が発揮できるように努める。
- ・教師は進んで研修に参加し、専門性の向上に努める。
- ・一人一人の幼児に対する理解を深める。幼児との信頼関係を築き、心の安定を図るように努める。

### ○豊かな人間性や社会性の基礎を育む

- 〈幼児期にふさわしい教育を行う〉
- ・遊びを通して総合的な指導を行う教育
- ・幼児期の特性を踏まえ環境を通して行う教育
- ・幼児の興味関心に基づいた直接的な体験が得られる教育

## 6 年度の重点目標

- 自分で考え、工夫する子ども
- 豊かな心で、友達と仲良く遊ぶ子ども
- 体が丈夫で、最後までがんばる子ども

## 7 年度の努力事項

- 環境構成の工夫
- 仲間関係の育成
- 学年・学級経営の工夫
- 家庭・地域との連携

## 8 研修・研究

### (1) 研究主題

- 人と関わる力の育成  
～思いを伝えたり、聞いたり、受け入れたりできるようにするための活動の在り方を探る～

### (2) 研究内容

- 3歳児：一人一人が自分の思いをもって遊ぶ中で、保育者や友達に思いを伝えるための活動の在り方を探る。
- 4歳児：保育者や友達と関わりながら様々な感情を味わって遊ぶ中で、保育者や友達に思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりするための活動の在り方を探る。
- 5歳児：一人一人のよさを発揮しながら友達と協力して遊ぶ中で、思いを伝えたり、受け入れたりしながら共同して遊ぶための活動の在り方を探る。



# 外ヶ輪小学校

住 所 新発田市中央町5丁目8番9号  
 TEL 0254-22-2549  
 FAX 0254-23-7203  
 URL togawa.shibata.ed.jp

## 1 学校の概要

(1) 創立 明治25年10月 7日

### (2) 教職員



校長 井上 正裕



教頭 吉田 直彦

教諭	22	養護教諭	1	事務職員	1
講師	0	補助教員	1		
介助員	6	用務手	1		

### (3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	2	2	2	2	2	2	4	16
男	20	31	23	33	22	26	18	173
女	18	25	20	35	24	29	8	159
計	38	56	43	68	46	55	26	332

## 2 地域の概要

- 学区は、新発田市の中心部に位置し、市役所をはじめ、警察署、市民文化会館、市立歴史図書館、生涯学習センター等の公共施設が集中している。
- 地域住民は、教育活動への理解が深く、協力的である。新発田祭りパレードや木遣り等を熱心に子どもたちに指導してくれている。
- 文化祭では、地域の方々講師となり様々な講座を開き、子どもたちが参加している。

## 3 教育目標

ともに伸びゆく  
 ～ かかわる つづける ふりかえる ～

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

### 【めざす学校の姿】

- ともに活動し、ともに学び合い、ともに楽しむ
  - ・あいさつの声が響き、子どもの活動する声が響く楽しい学校
  - ・地域、保護者と子どもの成長の喜びを共有し、未来を語り合う学校
  - ・命を育て、守る教育の推進に全力をつくす学校
  - ・教育に使命感をもち、子どもの輝く未来のために尽力できる教職員が集う学校

### 【めざす子どもの姿】

- (1) 主体的に学び、かかわり合う中で、考えを深める子
- (2) よいことを習慣とし、気持ちを伝え合い、互いのよさに気がつく子
- (3) 仲間と一緒に、ねばり強く運動し、元気に生活する子

## 5 学校の経営方針

- ともに活動し、ともに学び合い、ともに楽しむ
- (1) 学校評価を活用し、効率的で組織的な学校運営、教育活動を展開する。
- (2) 校内外の研修に積極的に参加し、OJTを進め、指導力の向上を図る。
- (3) 学びを深め、支える地域との連携をこれまで以上に進めるとともに、学校・地域がともに歩む関係を強化する。しばたの心継承プロジェクト地域コーディネーターを中核とする。
- (4) 全職員の高いアンテナを結集して危機管理にあたり「迅速・的確・誠実」の対応三原則を常とする。
- (5) 働き方改革を推進するために、学校・教師が担うべき業務の範囲について、地域・保護者と共通理解を図りながら業務改善を行う。

## 6 年度の重点目標

- (1) 主体的に学び、かかわり合う中で、考えを深める子
  - ・「しばたの心継承プロジェクト」の推進
  - ・新学習指導要領に即した授業改善の推進
  - ・基礎学力を確かに身に付けられる学習環境づくり
  - ・一人一台端末の活用による資質・能力の育成
- (2) よいことを習慣とし、気持ちを伝え合い、互いのよさに気がつく子
  - ・児童主体のあいさつ運動の推進
  - ・様々な活動を生かした自己有用感や人間関係の育成
  - ・社会性やよい習慣を身に付けた子どもの育成
  - ・いじめの積極的な認知といじめの起きにくい学校づくりの推進
  - ・困り感を抱えた子どもの早期発見と即時対応
  - ・本丸中学校区で連携した防犯教育の推進
- (3) 仲間と一緒に、ねばり強く運動し、元気に生活する子
  - ・運動に向かう意欲の向上
  - ・体力向上のめあてや振り返りの場の設定
  - ・よい生活習慣が身に付くための家庭への働きかけ

## 7 年度の努力事項

- (1) 教育課題の明確、学校評価の着実な実施
- (2) 新学習指導要領全面実施に伴う新教育課程の実施・評価・改善の取組
- (3) いじめ、不登校の未然防止
- (4) 校内教育相談体制の強化
- (5) 学校支援地域本部事業の推進
- (6) 働き方の見直し、業務改善
- (7) 安全・防災教育・防犯教育の推進
- (8) 感染症拡大防止の取組

## 8 研修・研究

### (1) 研究主題

主題：主体的に学び かかわり合う中で 考えを深める子  
 副題：「しばたの心継承プロジェクト」における、ファシリテーション的な活動を取り入れた教育実践を通して（2年次）

### (2) 研究内容

- ① プロジェクト単元の実施と活動の工夫
- ② 「しばたの心継承プロジェクト」の問題解決の過程の検証
- ③ ファシリテーション的な活動の工夫とその効果の検証



# 猿橋小学校

住所 新発田市中曾根町3丁目8番29号  
 TEL 0254-22-2123  
 FAX 0254-22-5892  
 URL saruhashi-e.shibata.ed.jp

## 1 学校の概要

(1) 創立 明治 7年 3月

(2) 教職員



校長 澁谷 一男



教頭 高山 雄一



教頭 太田 裕樹

教諭	37	養護教諭	1	養護助教諭	1
事務職員	2	講師	4	栄養教諭	2
介助員	14	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	4	4	3	3	3	4	11	32
男	47	45	39	60	51	47	45	334
女	58	53	53	41	52	70	14	341
計	105	98	92	101	103	117	59	675

## 2 地域の概要

以前は猿橋村として新発田町の西方に位置していたが、昭和18年町村合併により鴻沼村とともに新発田町に合併となり、その後昭和22年市制施行により新発田市となった。

学区は、新発田市の中央部に位置し、14町内からなっている。新旧混在している地区である。

また、地域の教育に対する関心が高く、期待も大きい。校区には「猿橋中学校区 すこやかな子どもを育てる会」があり、健全育成に関わる様々な活動を行っている。また、平成30年度、学校支援ボランティアを「瑛玖良サポーター」として組織化し、保護者・地域住民の学校教育への参画が一層促進している。

## 3 教育目標

つながり 高め合い みんなでつくる 瑛玖良校  
 ～ とともに きらきら かがやこう ～

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

【わかる・できるを実感する力】

学んだことや経験したことを振り返り、自分で得た学びを自覚し、自分のものにする子ども

【かかわる力】

積極的にいるいろいろな人とかかわり、思いや考えを聞いたり、伝え合ったりする子ども

【思いやる力】

他者との違いを認め、相手の気持ちを考えて行動できる子ども

【やり遂げる力】

自ら進んで自分の成長のために目標を決め、目標に向かって最後までやり遂げる子ども

【つくり出す力】

これまでの学びや経験を基に、新たな情報を得たり、他者と協力したりしながら、よりよい考えを形にする子ども

## 5 学校の経営方針

教育目標に込めた願い

【つながり とは】 子ども同士のつながりはもとより、子どもたちを取り巻くあらゆるつながりを指す。人とつながることを通して学びを深めたり、思いやりの心を育んでいく。

【高め合い とは】 さまざまなかかわりを通して、共に高め合う子どもの姿であり、正に「瑛玖良」という建学の精神、切磋琢磨を意味する。

【みんなで作る とは】 「みんな」は、子どもたち・保護者・地域住民・教職員など、猿橋小学校に関わる全ての人々を指す。「みんなで作る みんなの学校」それが新たに目指す「瑛玖良校」である。

【ともにきらきら かがやこう とは】 子どもも、保護者も、地域住民も、教職員もともにきらきらかがやく学校を目指す合い言葉である。

## 6 年度の重点目標

《知育》

- ・他者とかかわり、自分の思いや考えを伝えることができる子どもを育てる。
- ・学んだことを振り返り、身に付けたことを自覚することができる力を育てる。

《徳育》

- ・他者とのつながりを意識し、親切にしたり、思いやりたりすることができる子どもを育てる。
- ・友達と仲良く協力し、助け合える集団を育てる。

《体育》

- ・自分でめあてを決め、進んで運動や生活改善に取り組む態度を育てる。
- ・活動を振り返り、身に付けた技能や記録の伸びを実感できる子どもを育てる。

## 7 年度の努力事項

<生きて働く学力の定着>

- ・「学び合い」、「振り返り」を重視した学習過程の実施
- ・UDLの視点を生かした学習環境の整備と授業づくり
- ・「授業・学習スタンダード7」に基づいた学習規律の確立、家庭学習の習慣化

<思いやりの心と社会性の育成>

- ・つながりマナーを身に付けさせるための授業等の実施
- ・他者のよさや違いを認め合える受容的な人間関係を育成するためのソーシャルスキルトレーニング等の実施
- ・児童の発想や主体性を生かした挨拶習慣化の取組

<自ら運動や生活改善に取り組む態度の育成>

- ・体力向上に向けた基礎的な技能の育成と自らの学び実感できる授業の実施
- ・運動の楽しさ、喜びを体感できる場の設定、評価方法の工夫

・元気アップ週間や講演会、保健指導を核とした家庭との連携による基本的な生活習慣確立のための取組

<社会に開かれた、家庭・地域とともに歩む学校づくり>

- ・家庭・地域との連携、外部関係機関との連携

## 8 研修・研究

(1) 研究主題

つくりだす力を高める子どもの育成（2年次）

～児童が思いをもち、主体的に学び続ける

教師のコーディネイトの在り方～

(2) 研究内容

81 授業における「かかわる力（学び合い）」と「学びを実感する力（振り返り）」を高めるための具体的な教師の手立てを探っていく。



# 御免町小学校

住 所 新発田市大栄町4丁目5番地33号  
 TEL 0254-22-2216  
 FAX 0254-24-4610  
 URL <https://gomenmachi.shibata.ed.jp>

## 1 学校の概要

(1) 創立 明治 6年 2月 19日

(2) 教職員



校長 藤井 聡



教頭 佐藤 健

主幹教諭	1	教諭	27	養護教諭	1
事務職員	1	講師	3	補助教員	0
助員	10	用務手	1	SSS	1

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	3	3	3	2	3	3	8	25
男	35	31	35	29	47	31	23	231
女	35	38	38	33	46	47	17	254
計	70	69	73	62	93	78	40	485

## 2 地域の概要

- 学区は新発田市のほぼ中央部に位置し、古くからの地区と新興住宅地が混在している。
- 清水園、足軽長屋、諏訪神社、寺院など、城下町の歴史的な文化遺産を随所にとどめている。新発田祭りの台輪を継承している地区も多い。
- 地域住民は学校教育に関心が高く、協力的である。

## 3 教育目標

「みんなとともに生き 自分の力をせいっぱい伸ばしていく子ども」

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- 主体的に学ぼうとする態度、身に付けた基礎・基本を活用して課題解決を図るための「考える力」をさらに高めたい。
- 自らの課題に挑戦し乗り越えていく強さ、他者を思いやる優しさをさらに育てたい。
- より高い目標に向かって挑戦し、達成感を味わう中で自信を深めさせたい。また、学校生活を楽しむための前向きな生活習慣を定着させたい。
- 「子どもたちが主役」となる『本物の教育』を行うために、子どもたちに人の思いや生き方を学ばせる必要がある。

## 5 学校の経営方針

- 学校は、児童が自己実現を図るための基礎を培う場である。
- 「子どもの声を聴く」それがすべての教育の始まりである。
- 児童が安心して生活できる場、安心して通える学校づくり。
- 知・徳・体のバランスのとれた児童の育成。
- 「悪者」をつくらない教育。
- 的確な情報収集とスピード感のある対応。
- 「子どもは地域の宝」保護者・地域の思いや願いを大切に。
- 同じ方向を目指し、異なる役割を果たす職員集団。
- 教育課題克服のキーワードは『強く 優しく』。

## 6 年度の重点目標

- 学習に主体的・意欲的に挑戦する態度を身に付けさせる（知育）
  - ・考えを述べ合って思考する集団を育成する。
  - ・考えさせることを大切にし、剥離しない知識を獲得させる。
- 他者のことを思いやれる優しい心と未来を切り拓く強さを育てる（徳育）
  - ・互いに認め合い、優しさを発揮し合える集団を育成する。
  - ・『失敗』することを保障し、その都度きちんと考えさせる。
- 向上心をもち、目標達成に挑戦する気力や体力を育てる（体育）
  - ・楽しく運動に親しむ集団を育成する。
  - ・向上心と挑戦意欲をもち最後まで努力する態度を身に付けさせる。

## 7 年度の努力事項

- ◎ 人の思いや生き方を学ぶ～NIE～
- ◎ 特活的思考方を重視し、本気で特別活動に取り組む
- 「教師が教える授業」から「児童が考える授業」へ相互の考えを認め合いながら学習する集団の育成
- 思考力の向上に結び付く良質な学習問題の提供
- 言葉による指導だけでなく、『体験』を共有させて学ばせる
- 子どもたちを信じ、『活動』させる中で相互理解させる
- 『失敗』と『振り返り』を丁寧に経験させ、賞賛できるまで繰り返す
- 声を掛け合い楽しみながら運動に取り組む場の提供
- 健康的な生活習慣の定着に向けた全校あげての取組
- 運動を通して達成感を味わわせる場の提供
- 個の生活実態に応じた家庭と協働した取組

## 8 研修・研究

(1) 研究主題

「心を育てるNIE」～人の思いや生き方を学ぶ～（2年次）

(2) 研究内容

新聞は、人がテーマである。授業や日常の活動で新聞の活用方法を工夫することで、教科等の知識に加えて人の思いや生き方を学べるようにする。そして、人の思いや生き方を豊かに学ぶことを通して、学習に主体的・意欲的に挑戦する態度、優しい心と未来を切り拓く強さ、向上心や挑戦するための気力など、学校の課題を解決することにつながる「心」を育てる。



# 二葉小学校

住 所 新発田市中田町3-6-1  
 TEL 0254-22-2164  
 FAX 0254-22-6690  
 URL <http://futaba.shibata.ed.jp/>

## 1 学校の概要

(1) 創立 昭和39年 4月 1日

(2) 教職員



校長 鈴木 正彦



教頭 中野 史子

教諭	16	養護教諭	1	事務職員	1
講師	2	補助教員	1	栄養教諭	2
介助員	5	用務手	1	給食運搬	1

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	2	2	2	2	2	1	4	15
男	23	28	19	19	23	21	19	152
女	22	26	23	28	30	15	7	151
計	45	54	42	47	53	36	26	303

## 2 地域の概要

二葉小学校は昭和39年に開校した。その後まもなく昭和41年と42年の水害で、地域は大きな被害を受けた。このことから、当校は、現在防災教育に力を入れ、いのちを大切に守る教育を重視している。

地形としては、加治川が地域を流れ、広々とした田園と近代的な町並みとを併せもつ地域である。また、保護者を始め、祖父母や地域の学校に対する関心と期待の高さが感じられる風土である。平成27年度PTA文部科学大臣表彰を受けた。地域と学校で組織する「二葉ネットワーク」も平成29年度に文部科学大臣表彰を受けた。地域と学校が連携・協働して教育活動を推進している。

## 3 教育目標

たくましく 生きる 二葉っ子

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

### 【知育】

- ・授業が「分かる」と感じている児童が多いものの「分からない」と感じている児童もいる。
- ・児童が自己の学びを実感できるよう、学期ごとに重点単元を設定し、全校体制で取り組んでいく必要がある。

### 【徳育】

- ・「いじめをしない・見逃さない」という意識は高まっている。更なる意識の高まりが不可欠である。

### 【体育】

- ・自分で立てたメディアルールを意識して、生活できる児童が多い。しかし、意識せず生活できない児童もいる。

## 5 学校の経営方針

### ○めざす学校像

- ・安心・安全な学校
- ・家庭・地域との連携・協働、地域とともに歩む学校づくり～「地域の学校」～

### ○めざす児童像

- ・自他の生命を尊重できる。
- ・「貢献」がキーワード。すべての子どもに「必要とされている」という実感をもたせる。
- ・自分と相手を大切にし、認め合い、助け合う。

### ○めざす教職員像

- ・「主体的・対話的で深い学び」を育むよう、授業を工夫する。
- ・UDLや合理的配慮に留意し、具体的な提案をして保護者との合意を形成する。
- ・子どもの自己決定のプロセスを大切にする。
- ・確実に「報告・連絡・相談」する。
- ・一人で抱え込まず、チームで対応する。
- ・非違行為根絶に向けた取組を推進する。

## 6 年度の重点目標

◎ふるさと（新発田）が好きで、夢や希望へ向かって学び続ける子

### 【知の育ち】主体的に学習に取り組む子

- ・知識・技能を習得し、思考力・判断力・表現力を伸ばすために主体的に学ぶ子

### 【徳の育ち】自他を尊重し大切にする子

- ・相手を思いやり、自他のよいところを進んで見つけようとする子

### 【体の育ち】心身の健康管理ができる子

- ・めあてをもって運動に取り組んだり、望ましい生活習慣を身に付けようとする子

## 7 年度の努力事項

- (1)「分かる（自己の学び）」を実感させ、学ぶ楽しさを感じさせる。
- (2)豊かな心と健やかな体を育てる教育の充実に努める。
- (3)子どもの健康・体力づくりを推進する。
- (4)特別な支援を必要とする児童に対して、支援体制を整える。
- (5)いのちを大切にし、守る教育活動を充実させる。
- (6)地域の「人・もの・こと」を積極的に活用し、地域と連携した教育活動を推進する。

## 8 研修・研究

### (1) 研究主題

「主体的・対話的で深い学び」の創造（1年次）～金融教育の視点を位置付けた授業実践を通して～

### (2) 研究内容

- ①教科等のねらい、学習内容を大切にしながら金融教育の視点を位置付けた「二葉小金融プログラム」を完成させる。
- ②「新発田市授業スタンダード」、「teacher's 2020～2021」に基づき、課題設定場面の工夫を行う。
- ③自他の学び方のよさや学んだことの意識・価値、自己の変容や気付き等についての自覚を促す「振り返り」を設定する。



# 東小学校

住 所 新発田市五十公野 4 8 6 2 番地  
 TEL 0 2 5 4 - 2 2 - 3 6 4 1  
 FAX 0 2 5 4 - 2 2 - 8 6 4 4  
 URL higashi-e.shibata.ed.jp

## 1 学校の概要

(1) 創立 平成 3 0 年 4 月 1 日

### (2) 教職員



校長 小坂井 博



教頭 中山 久司

教諭	21	養護教諭	1	事務職員	1
講師	1	補助教員		栄養教諭	1
介助員	7	用務手	1	学校看護師	1

### (3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	2	2	2	2	2	2	6	18
男	21	29	28	26	36	30	33	203
女	29	31	28	39	35	35	8	205
計	50	60	56	65	71	65	41	408

## 2 地域の概要

平成 3 0 年度に松浦小、五十公野小、米倉小の 3 校が統合し、誕生した学校である。学区は広大であり、住宅地や農村部、さらには山間地もあるなど、自然豊かな地域である。

地域の方々は学校に対して協力的で、家庭と学校が共同して教育活動を行うことができるものと考えられる。令和元年度に東小学校後援会が立ち上がり、物心両面にわたる支援をいただいている。また、通学支援ボランティアの方から、子どもたちの登下校の見守りを行っていただいている。地域の学校に対する期待は大きい。

## 3 教育目標

ともに伸びる 元気な子ども

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

### 【知育】

- ・粘り強く取り組む態度
- ・筋道を立てて考える力
- ・聞き合い、話し合う力

### 【徳育】

- ・認め合い、差別を許さない態度
- ・相手を思いやる心
- ・ふさわしい言葉遣い

### 【体育】

- ・基本的な生活習慣についての理解
- ・体力を保持増進に進んで取り組む態度

## 5 学校の経営方針

基本方針 「すべては信頼の上にある」

- (1) 学級経営、学校経営の充実を図る
- (2) 基礎・基本とふれあい、あいさつ
- (3) 校内支援委員会、いじめ不登校対策委員会を機能させた全校体制の取組
- (4) 学習指導の基礎・基本を徹底する
- (5) 地域とともに学校を創る
- (6) 教育者としての自覚と非違行為の根絶
- (7) 感染症対策 アレルギー対応

## 6 年度の重点目標

### 【知育】

粘り強く考え、ともに学び合い、問題を解決する子

### 【徳育】

言葉遣いを整え、互いに認め合い自他を大切にする子

### 【体育】

基本的な生活習慣や運動習慣を身に付け、健康的な生活をする子ども

## 7 年度の努力事項

### 【知育】

- ・基本学習タイムでの基礎・基本の習熟と徹底
- ・東小スタンダードに基づく、深い学びの評価規準を明確にした授業実践
- ・聞き方・話し方の指導と話し合い場面の工夫

### 【徳育】

- ・計画的な全校縦割り班や異学年交流とその振り返り
- ・通年のあいさつ運動と「さん付け呼称」の運動
- ・人権教育、同和教育の視点に立った道徳授業の充実
- ・いじめや不登校、問題行動等の早期発見と即時対応

### 【体育】

- ・手洗い、歯磨き、食事、睡眠の適切な指導
- ・保護者と連携した基本的な生活習慣定着に向けた取組
- ・体力向上プログラムの見直し、体育授業の充実

## 8 研修・研究

### (1) 研究主題

主体的に取り組む、考えを深める子どもを目指して  
(1 年次)

～評価規準を明確にして、授業を創る～

### (2) 研究内容

- ① 自校化した授業スタンダードの実践
- ② 研究主題実現のための指導の工夫
- ③ 平成 2 9 年度告示の学習指導要領に示されている新しい教科や領域・内容の研修



# 川東小学校

住 所 新発田市下羽津1938番地  
 TEL 0254-25-2009  
 FAX 0254-25-2911  
 URL kawahigashi-e.shibata.ed.jp

## 1 学校の概要

(1) 創立 平成26年 4月 1日

### (2) 教職員



校長 岡崎 功一



教頭 富田 一志

教諭	11	養護教諭	1	栄養教諭	1
事務職員	1	講師	3	介助員	1
用務手	1				

### (3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	1	1	1	2	1	1	3	10
男	16	13	13	21	11	13	4	91
女	14	12	11	17	16	13	2	85
計	30	25	24	38	27	26	6	176

## 2 地域の概要

当校は、新発田駅から南東へ約5.9km、二王子岳を東に望み、加治川の清流の恵みを受けた田園地帯にある。地域には、「教育村川東」の伝統が引き継がれており、教育に関心が高く、学校に対して協力的である。

## 3 教育目標

「かしこく やさしく たくましく」

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- (1) 基礎学力の定着
- (2) 社会的・職業的自立の基礎的能力や態度
- (3) 自己有用感や人間関係を築く能力
- (4) よりよい集団づくりのための社会性の育成
- (5) 健康的な基本的生活習慣の定着

## 5 学校の経営方針

ふるさとを愛し 夢や目標をもち  
進んで学び合う子ども

ふるさとを愛し【あい】  
 人と仲よくかかわり【ひと】  
 自分を見つめ【じぶん】  
 自分らしく生き【いきる】  
 未来を切り拓く子【みらい】

<学びの合言葉>  
 「夢や目標」に向かって  
 チャンス・チャレンジ・チェンジ  
 <生活の合言葉>  
 いじめ・差別をしない、許さない  
 やさしい川東っ子

## 6 年度の重点目標

<学びの重点目標>  
 進んで学び合い、確かな学力を身に付ける子ども  
 ○「勉強が楽しい」と答える児童を80%以上に  
 する。  
 ○「主体的に学習に取り組む態度」（自らの学習  
 状況を調整しながら学ぼうとしている）がみら  
 れる児童の割合を75%以上にする。

<こころの重点目標>  
 いじめ・差別をしない、許さないやさしい子ども  
 ○学校生活アンケートで「学校が楽しい」と感じ  
 る児童80%以上にする。  
 ○学校生活アンケートで「進んであいさつをし  
 たり返したりできる」と答える児童を70%以上  
 にする。

<からだの重点目標>  
 進んで運動し、健康的に生活する子ども  
 ○学校生活アンケートで「運動が楽しい」と答  
 える児童が75%以上になる。  
 ○新しい生活様式（3密、ソーシャル・ディスタ  
 ンス、うがい・手洗い）を意識して生活してい  
 る児童が75%以上になる。

## 7 年度の努力事項

進んで学び合い、確かな学力を身に付ける子ども  
 ○学んだことを説明できるようにする学習指導  
 ○意欲を高めて自ら学ぼうとする学習習慣の定着

いじめ・差別をしない、許さないやさしい子ども  
 ○ルールとリレーション（人間関係）指導と教育  
 相談の充実  
 ○人間関係形成能力を高める活動

進んで運動し、健康的に生活する子ども  
 ○体力実態に基づいた体力向上の取組  
 ○健康に生活するための好ましい生活習慣の定着

## 8 研修・研究

### (1) 研究主題

主体的に考える子どもの育成（1年次）  
 ～ICT機器を活用した学習活動を通して～

### (2) 研究内容

◎授業研修の実施  
 ・新発田市授業スタンダードを意識した授業  
 ・ICT機器利活用に係る研修  
 ・ICTを活用した授業提案



# 七葉小学校

住 所 新発田市黒岩6番地  
 TEL 0254-29-3305  
 FAX 0254-31-2012  
 URL <http://nanaha-e.shibata.ed.jp/>

## 1 学校の概要

(1) 創立 昭和45年 4月 1日

### (2) 教職員



校長 中野 隆一



教頭 脇川 恭子

教諭	17	養護教諭	1	事務職員	1
講師	3	補助教員	1	補助職員	1
介助員	6	用務手	1		

### (3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	2	2	1	2	2	2	5	16
男	19	19	13	22	18	13	25	129
女	22	18	16	14	22	24	5	121
計	41	37	29	36	40	37	30	250

## 2 地域の概要

○学区は楡型山脈西側に広がる水田地帯にある。加治川地区に隣接しながら、二王子岳山麓まで広がる。

○今年度から、旧菅谷小学校と統合し、学区がより広範囲となる。

○国道7号線沿いの新興住宅地域と旧集落の水田地域に分けられる。

新興住宅地の児童数が全体の7割を占めている。

## 3 教育目標

自分を高め みんなとともに生きる子ども

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

○自分も友達も笑顔でいるために、何ができるか、何が必要か考えながら過ごしてほしい。

○差別事象を自分事として考え、自分の生き方を問い直してほしい。

○自他のよさに気付き、互いを尊重しあってほしい。

○新生七葉小学校として、自分たちの力で学校をよくしていこうとする気持ちをもってほしい。

## 5 学校の経営方針

笑顔あふれる七葉

- (1)子どもたちの笑顔（≡幸せ）を常に念頭に置きながら教育活動を推進する。
- (2)子どもたちを徹底して、愛し、信頼する。
- (3)「新生」の意味を大切に、新生七葉小学校をつくっていく。
- (4)人権教育、同和教育を確実に推進する。
- (5)全職員による特別支援教育を徹底する。
- (6)地域との連携・協働による学校づくりを推進する。
- (7)GIGAスクール構想の実現のために、スタートを切る。

## 6 年度の重点目標

人権教育、同和教育を、知徳体、全ての教育活動の中核に据える。

- <知育>  
ともに学び合い  
確かな学力を身に付ける子ども
- <徳育>  
あたたかな人間関係を築ける子ども
- <体育>  
すすんで運動し健康的に生活する子ども

## 7 年度の努力事項

- (1)人権学習「きずな」の実践
- (2)かかわる同和教育の実践
- (3)絆班活動の充実
- (4)主体的・対話的で深い学びの具現
- (5)自己肯定感・自己有用感の醸成
- (6)楽しい体育授業の実施
- (7)家庭・地域と協働で進める教育活動

## 8 研修・研究

- (1)研究主題  
自分を、みんなを大切にして、共に伸びようとする子どもの育成
- (2)研究内容
  - ①人権教育、同和教育の視点に立った教育活動の取組
  - ②6年間を見通した人権学習「きずな」の授業実践
  - ③家庭・地域連携の取組



# 佐々木小学校

住 所 新発田市則清856番地  
 TEL 0254-27-2011  
 FAX 0254-27-2275  
 URL sasaki-e.shibata.ed.jp

## 1 学校の概要

(1) 創立 明治35年 7月10日

### (2) 教職員



校長 齋藤 博敏



教頭 加藤 義隆

教諭	9	養護教諭	1	事務職員	1
講師	0	補助教員	0		
介助員	2	用務手	1		

### (3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
男	14	9	9	13	3	12	5	65
女	10	5	13	9	11	8	3	59
計	24	14	22	22	14	20	8	124

## 2 地域の概要

○学区は、新発田市の西部に位置し、新発田市街、聖籠町、新潟市北区に近接している。18区約1,200世帯からなっている。  
 ○当地区は、稲作を中心とする田園が広がっているが、旧国道7号周辺には、西部工業団地があり、工場も多い。  
 ○共働きの家庭が多いが、保護者及び地域住民は学校教育に対して理解があり、協力的である。

## 3 教育目標

- 自分で深く考える子
- 思いやりをもって助け合う子
- がんばってやりとげる子

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- 学力の向上
- 思いやりの心の育成
- 体力・健康の向上

## 5 学校の経営方針

**キーワード：「一人一人が輝き、幸せな学校」**

子どもたちは、個性的で、それぞれ違ったよさをもったかけがえのない存在である。それぞれのよさを発揮し、学習意欲と知的好奇心に支えられた学びを子どもたち自らが展開できるよう、子どもたち一人一人の個性が輝き、安全に安心して過ごせることができる幸せな学校づくりを推進していく。

輝き、幸せを感じてほしいのは子どもたちだけではない。子どもたちの成長を支える職員にとっても輝き、幸せな学校にしたい。子どもが輝き、幸せを感じてこそ生まれるものである。教師だけでなく、様々な職種の職員が、それぞれの立場で、子どもたちのために何ができるのかを考え、その実現に向けて生き生きと職務に専念する学校を目指す。

## 6 年度の重点目標

### 【知育】

- (1) 学習が分かる、できる喜びを実感できる子
- (2) 進んで家庭学習に取り組む子

### 【徳育】

- (1) しっかりとあいさつや返事をする子
- (2) お互いを認め合い、協力し合う子

### 【体育】

- (1) 運動を楽しみ、進んで運動する子

## 7 年度の努力事項

- (1) 周囲とかかわり合いながら、自ら学び、考えを深める子どもの育成
- (2) プログラミング教育の推進による理論的な思考力の育成
- (3) 基本的な生活習慣(あいさつ・返事)の定着
- (4) 人間関係づくりの推進(学級・たてわり班)
- (5) 「できた・楽しい」を実感させる体育学習の展開
- (6) 健康的な生活習慣の定着
- (7) 地域人材の積極的な活用及び各種地域機関との連携によるふるさとへの愛着の心の育成
- (8) 発達段階に応じたサイクルに基づいた食育の実践による生きる力の育成
- (9) 人権感覚を高める「人権教育、同和教育」の推進
- (10) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

## 8 研修・研究

### (1) 研究主題

○自己の考えの変容、深まりを自覚し、主体的に学ぶ子どもの育成  
 ～学習と指導と評価が一体化された学習改善サイクルの構築～

### (2) 研究内容

- ① 研究教科 全教科
- ② 目指す子どもの姿を具現化させるための手立て
  - ア めあてや見通しを明確にもたせるための課題及び課題提示の工夫
  - イ 学んだことを明確にするための振り返りの工夫



# 住吉小学校

住 所 新発田市住吉町3丁目6番22号  
 TEL 0254-24-1148  
 FAX 0254-23-3993  
 URL [sumiyoshi.shibata.ed.jp](http://sumiyoshi.shibata.ed.jp)

## 1 学校の概要

(1) 創立 昭和53年 4月 1日

### (2) 教職員



校長 天井 弘



教頭 白井 政之

主幹教諭	1	教諭	33	養護教諭	1
事務職員	2	講師	2	補助教員	1
介助員	11	用務手	1	SSS	1
図書館事務	1	給食運搬P	1		

### (3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	3	4	4	3	3	3	11	31
男	38	38	50	42	42	37	44	291
女	43	55	63	39	42	36	17	295
計	81	93	113	81	84	73	61	586

## 2 地域の概要

学区の南側を白新線が通り、近年、西新発田駅を中心に宅地開発と同時に大型店の進出により、交通量が多くなった。

地域住民は、学校教育に理解があり、行事やその他教育活動に対して大変協力的である。

## 3 教育目標

助け合い、進んで学習するたくましい子ども

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

住吉小学校は、保護者と学校職員がパートナーとなり、互いを尊重し、力を合わせて教育と子育てを行っている。具体的にはPTA活動の充実など、連携した教育を推進している。

また当校は、市の課題ならびに、校区内に同和地区と人権啓発のための拠点施設である隣保館があることを受け、教育の基盤を「人権教育、同和教育の充実」に置き教育活動を進めている。児童一人一人に人権感覚と実践的態度の育成を図るとともに、職員が児童一人一人に寄り添うことによって、人権や差別の問題を自分の問題としてとらえられるような指導の充実をさらに図っていく。認め合い、支え合い、高め合う経験を通して、将来の自立に向け、たくましく生きていく力を付けることを柱として学校づくりを進めている。

## 5 学校の経営方針

- 「一人一人に寄り添い、響き合う学校～家庭・地域とともに～」
- 「笑顔」がいっぱい「ストレス社会」「不寛容な時代」だからこそ「笑顔」がいっぱい
- 「チーム住吉小」で組織力アップ
  - 目標、目的を共有する。
  - 「学年協力担任制」の考え方に立った学習指導、生徒指導を展開する。
- 「3つのや」を育む教育活動の展開
  - 「やろう」という意欲の喚起をする。
  - 「やった」という成就感、達成感を味わわせる。
  - 「やれる」という自信を喚起する。

## 6 年度の重点目標

- かかわる力の育成
  - 自分もみんなも大切にすることも
- 学力の向上
  - 互いの考えを認め、学び合える子ども
- 体力向上・健康増進
  - 互いのよさを認め、楽しく運動する子ども
  - 正しい生活習慣を身に付ける子ども

## 7 年度の努力事項

- 望ましい人間関係づくり
  - ①人権や差別の問題を自分の問題としてとらえる指導の充実（人権教育、同和教育の充実）
  - ②学級集団、異学年集団の人間関係づくり能力の育成
- 課題解決に向けた意欲と主体性の向上
  - ①住吉授業プランを基にした、アクティブ・ラーニング型（自主的・主体的・協同的）授業の実施
  - ②中学校区で共通に取り組む「教師と児童のスタンダード7」の実施
  - ③個に応じた指導や少人数指導の実施
  - ④家庭学習の取組支援
- 体力向上と健康の改善
  - ①体育授業におけるグループ学習の活用
  - ②養護教諭による情報提供
  - ③家庭と連携した強調週間の取組

## 8 研修・研究

### (1) 研究主題

自分の差別意識を見つめ、差別に立ち向かおうとする思いを強める子の育成  
～同和問題をはじめとする様々な差別問題から自分を見つめ直す授業実践を通して～

### (2) 研究内容

- ①同和問題をはじめとする様々な差別問題（社会にある差別問題）と、対象児を核とした学級内の問題を扱った授業や単元の開発（資料発掘）を行う。
- ②授業や単元において、自己の差別意識を見つめる指導過程や指導法を明らかにする。



# 東豊小学校

住 所 新発田市東新町4丁目10番8号  
 TEL 0254-23-5075  
 FAX 0254-23-5189  
 URL http://toho.shibata.ed.jp

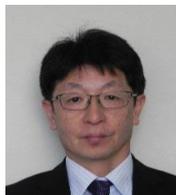
## 1 学校の概要

(1) 創立 昭和63年 4月 1日

### (2) 教職員



校長 飯塚 進



教頭 鈴木 真史

教諭	27	養護教諭	1	事務職員	1
講師	3	補助教員	1	図書館事務	1
介助員	5	用務手	1	地域コーディネーター	1

### (3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	4	3	3	3	3	3	4	23
男	45	34	47	42	45	39	16	268
女	52	49	45	37	47	35	8	273
計	97	83	92	79	92	74	24	541

## 2 地域の概要

旧市街地の東部に位置する校区は、住宅地域と農村地域の二つの地域から成り立っている。学校周辺は新興住宅地に変容し、児童数が急増した。それに伴って、平成8年度には6教室の校舎増築が行われた。

学校周辺には田園風景も見られ、清楚な教育環境にあるが、通学路には、交通量の多い県道米倉・板山・新発田線と同新発田・津川線が横切っている。また、校区内に新しく道路が開通し、さらに交通量が増加している。

地域や家庭の学校教育に対する関心は高く、協力的である。さらに一層の連携強化を図っていく。

## 3 教育目標

- 【知育】 かしこく
- 【徳育】 なかよく
- 【体育】 たくましく

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- 【知育】
  - ・基礎基本→Webシステム結果を分析し、授業改善に活用する。
  - ・家庭学習→各学年の目指す姿や系統性を見直して「学年×10分」を継続する。
  - ・授業改善→UDLの視点で授業改善「対話的な学び」のある授業を意識した授業づくりをする。

- 【徳育】
  - ・あいさつ・言葉→地域や保護者との連携を密にする。
  - ・いじめ不登校→教育相談や人権教育、同和教育に関する職員研修を実施する。

- 【体育】
  - ・健康の増進→就寝時刻とメディアとのバランスを継続的に指導する。
  - ・体力→多様な運動を経験させ、投げる力を向上させる。

## 5 学校の経営方針

- 「つ・な・が・り」を大切にして  
 ～人が人を愛し人を大切にする学校、人が人から愛される学校～  
 人から大切にされる学校～  
 ○子どもと子どもとの「つ・な・が・り」のある学校  
 ○教職員と子どもとの「つ・な・が・り」のある学校  
 ○教職員と教職員との「つ・な・が・り」のある学校  
 ○教職員と保護者、地域の人々との「つ・な・が・り」のある学校そして地域  
 ○保護者と保護者、地域の人々との「つ・な・が・り」のある学校そして地域  
 ○子どもと地域の人々との「つ・な・が・り」のある学校そして地域

## 6 年度の重点目標

- 【目指す子ども像】  
 主体的に学び合うことを通して、見方・考え方の深まりや広がりを実感する子ども  
 教科教育→学力の向上  
 「基礎学力・主体的な深い学び」  
 情操教育→豊かな心の育成  
 「思いやりの心と協調性」  
 健康教育→体力の向上と健康三原則の定着  
 「基礎体力・望ましい生活習慣」

## 7 年度の努力事項

- 【知育】
- ・Web配信問題を実施し、関連指導を行う。
  - ・家庭学習の手引きを配布する。
  - ・「対話的な学び」「振り返りの充実」を推進するための手立てを工夫した授業を実施する。
- 【徳育】
- ・指導計画に基づいた人権教育、同和教育の実践。
  - ・人間関係づくりに関するスキルの実践
  - ・ねらいや振り返りを大切にした「あいさつ・言葉遣い」の取組の実施
- 【体育】
- ・家庭と連携した生活習慣改善カードの取組
  - ・「投げる運動」を中心とした補強運動の実施
  - ・運動の習慣化を目指した行間運動の実施

## 8 研修・研究

- (1) 研究主題  
 一人一人が学びを実感できる授業の創造（2年次）  
 ～「つながり」の中で、「対話的な学び」のある授業づくりを目指して～
- (2) 研究内容
- ①単元を見通した主体的な学びを実現するための「学びのマップ(単元の流れ)」の共有する。
  - ②「対話的な学び」のある授業における目指す子どもの姿を明確にする。
  - ③「対話的な学び」のある授業づくりのための手立てを講じる。
  - ④学びの実感を促す「振り返り」方法を工夫する。



# 豊浦小学校

住 所 新発田市大伝465-2  
 TEL 0254-22-2034  
 FAX 0254-23-7002  
 URL https://toyoura-e.shibata.ed.jp

## 1 学校の概要

(1) 創立 令和 3年 4月 1日

### (2) 教職員



校長 阿部 英幸



教頭 尾矢 貞雄

教諭	16	養護教諭	1	事務職員	1
講師	0	補助教員	1	助教諭	1
介助員	3	用務手	1		

### (3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
男	27	27	27	26	22	18	12	159
女	21	23	28	30	32	30	4	168
計	48	50	55	56	54	48	16	327

## 2 地域の概要

学区の多くは田畑であり、豊かな自然に恵まれた農村地帯である。小坂、興野地区の梅林園、滝沢地区の水芭蕉の群生地、乙次地区の真木山公園といった、四季を楽しめる恵まれた地域である。また、月岡温泉やゴルフ場施設もあり、県内外からたくさんの観光客が訪れる。

また、乳牛を飼育する牧場や地場産の新鮮な野菜や特産物を販売する大規模な商業施設もあり、地産地消を具現する地域でもある。

地域の人々は温順であり、地域の伝統を大切にし、学校の教育活動に大変協力的である。

## 3 教育目標

- 自分で決める
- 人を大切にする
- 問い続ける

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- 決められた学習課題や仕事に対しては熱心に取り組む。一方で、自分で課題を解決しようとする意欲や思考力、判断力、表現力には課題が残る。
- 指示に素直に従う半面、自分の考えや思いを進んで伝えたり、異なる考えを言い合わせながら新しい考えを生み出したりすることに弱さが見られる。主体性の育成が課題である。
- 児童一人一人の違いや、教育的ニーズに応える教育の充実が求められる。

## 5 学校の経営方針

### (1) 【目指す子どもの姿】

- ① 自分で決めることの自由や楽しさを知り、主体的に学ぶ子ども
- ② 思いやりの心を持ち、他者と協働し、互いに認め合える子ども
- ③ 常によりよいもの、新しいものを求めて粘り強く根気強く取り組み、生み出していく子ども

### (2) 【具体的な取組の方針】

- ① 「分かる、できる」を実感させる授業
- ② 居心地のよい学級、いじめを許さない集団づくり
- ③ 自己有用感の育成
- ④ 職員の組織力、同僚性の発揮
- ⑤ 高い授業力を身に付けるための職員研修の充実

## 6 年度の重点目標

### (1) 自分で決める

- ① 問いや願いをもった学習を推進する。
- ② 正しいと思うことを自分で判断し行動する。
- ③ 自分の体力を知り、継続的に運動に取り組む。

### (2) 人を大切にする

- ① 対話を通して、よりよい考えを導き出す。
- ② 自分や友だちのよさを見付け、違いを認める。

### (3) 問い続ける

- ① 学び方や解決の仕方を工夫する。
- ② 自己の言動を振り返り、よりよい自分を目指す。
- ③ 体育の授業や規則正しい生活の定着を目指す強調週間で、自分が立てためあてを達成するために行動する。

## 7 年度の努力事項

### (1) 自分で決める

- ① 授業や終末に設定する「振り返り」の時間の設定
- ② あいさつ、「さん」付けの推進
- ③ 学習カードを用いた体育の授業実践の継続

### (2) 人を大切にする

- ① 対話場面でのタブレットやホワイトボードの活用
- ② 異学年年齢集団活動の充実
- ③ 認め合いを促す学習カードの活用

### (3) 問い続ける

- ① 生活科や総合を中心とした、問題解決的な学習場面の設定
- ② 道徳、人権教育、同和教育の推進

## 8 研修・研究

### (1) 研究主題

「分かる、できる」を実感する子どもの育成

### (2) 研究内容

- ① 一人一人の持ち味や専門性を生かし、各自が設定した研修テーマに基づいた授業実践の蓄積
- ② 新発田授業スタンダードを踏まえた授業の定着
- ③ G I G Aスクールに資する研修会への参加および授業実践への活用



# 紫雲寺小学校

住 所 新発田市稲荷岡2389番地

TEL 0254-41-2022

FAX 0254-41-2042

URL http://shionjies.shibata.ed.jp

## 1 学校の概要

(1) 創立 明治16年12月

(2) 教職員



校長 濱田 浩昭



教頭 大石 康範

教諭	9	養護教諭	1	事務職員	1
講師	0	補助教員	0	養護助教諭	0
介助員	3	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
男	9	12	10	11	13	11	12	78
女	14	10	15	12	8	10	1	70
計	23	22	25	23	21	21	13	148

## 2 地域の概要

紫雲寺地区は享保20年に始まった紫雲寺湯の干拓によって開発が進められた地域である。中心部には、商店街がならび、周辺部には、水田と砂丘地帯の畑地が広がっている。また、愛鳥センター、藤塚浜海水浴場などがあり、子どもたちの置かれている環境は自然豊かである。

## 3 教育目標

「ともにのびよう」

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- (1) 魅力的な学習課題の設定と「学び合い」を重視するとともに、自分の考えを表現できるようにすることを通して、学習意欲の向上と確かな知識及び技能の習得、思考力・判断力等の育成を図る。
- (2) 「お互いを知り、よさを認め合う教室風土の醸成」と「異学年活動」を通して、自己開示する力（自分の考えや感情等を表現したり、それを受け止めたりすること）の育成を図る。
- (3) 主体的な「健康・体力づくり」に向けての生活習慣、運動習慣の見直しを図る。

## 5 学校の経営方針

- (1) 子どもの声を聴く。
- (2) 安心・安全な場である学級・学校
- (3) 知・徳・体のバランスのとれた児童を育成する教育活動
- (4) 親和的な人間関係をつくり、自己開示する力を身に付けさせていくことを目指す。
- (5) スピード感のある対応は誠意の表れ。
- (6) 子どもは地域の宝である。地域の人・もの・ことのかかわりを大切に教育活動
- (7) 教育目標を意識し、ベクトルを揃えた教育活動を行う教師集団

## 6 年度の重点目標

- (1) 目指す学校の姿
  - ① 生き生きと学び合う学校
  - ② 信頼され子どもを通わせたい学校
  - ③ 意欲に満ち働きがいのある学校
- (2) 目指す子どもの姿
  - ① 知育：学ぶ子
  - ② 徳育：自他のよさを認める子
  - ③ 体育：運動・生活を改善する子
- (3) 目指す教職員の姿
  - ① 子どもの声に耳を傾け、心の声を聴き取る教職員
  - ② 日々の授業を大切にし、授業改善を通して、高め合っていく教職員
  - ③ 家庭や地域との連携に努め信頼を得る教職員

## 7 年度の努力事項

- (1) 学力向上
 

国語・算数のワークテストにおいて、各学年で全国平均点の通過率がそれぞれ80%を上回る。  
※国語(テストの表面)算数(テストの表裏両面)
- (2) 豊かな心の育成
 

「自分にはよいところがある」と思う児童が80%以上になる。
- (3) 体力の向上、健康の保持・増進
 

「めあてをもって運動に取り組んでいる」「進んで身体を動かしている」と答える児童が80%以上になる。病気の予防や、健康維持に関わる項目で「よくできた」と答える児童が80%以上になる。

## 8 研修・研究

- (1) 研究主題
 

深く考え、論理的に記述する子どもの育成  
～ 論理的な記述をゴールに据えた  
学び合いのコーディネート ～
- (2) 研究内容
 

文章アウトラインを活用した記述等をゴールに据えて学び合う活動を行うことで、課題への理解を深める。また、そのことを通して、主張・根拠・理由を明確にして話し合いに参加し、文章表現等ができる児童の育成を図る。



# 米子小学校

住 所 新発田市真野原外1773番地  
 TEL 0254-41-2036  
 FAX 0254-41-4553  
 URL yonesyo.shibata.ed.jp

## 1 学校の概要

(1) 創立 明治17年 1月 7日

(2) 教職員



校長 小池 秀樹



教頭 本保 真由美

教諭	8	養護教諭	1	事務職員	1
講師		補助教員			
介助員	1	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7
男	6	5	5	6	8	5	2	37
女	4	5	6	4	3	5	2	29
計	10	10	11	10	11	10	4	66

## 2 地域の概要

紫雲寺湧干拓発祥の地にあり、学区は、砂丘地、水田地帯に分布した農村地帯である。広々とした校地に平成14年に整備された「米子の森」、平成17年に整備された「学校田」「ビオトープ」がある。

地域の人々の教育に寄せる期待や信頼は高く、学校の教育活動や地域の子ども会育成活動にも協力的である。

## 3 教育目標

「つよく かしこく 豊かな心」

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

(1) 知育

- ①進んで友達と学び合いながら、自分の考えをもち、より深めようとする。
- ②多くの文章に触れて言葉の特徴を知り、適切に使う力を身に付ける。
- ③話を正確に聞き取りその内容を整理し、筋道を立てて伝える力を育成する。

(2) 徳育

- ①相手の気持ちや立場を考え、相手のためになることをしようとする。
- ②差別に敏感で、誰にでも優しく声をかけることができる態度を身に付ける。
- ③自他にとってよりよくなるための行動を主体的に決める判断力を育成する。

(3) 体育

- ①粘り強く運動に取り組み、協力して体力を高めようとする。
- ②健康や安全の大切さが分かり、学んだことを普段の生活に生かす技能を身に付ける。
- ③運動や健康について課題の解決方法を考え行動に表す実践力を育成する。

## 5 学校の経営方針

「つよく かしこく 豊かな心」は、日々学び合う営みをおして「学ぶことの楽しさ」「人を信じること」「健康に生きる喜び」を実感できる体験を積み重ね、その結果として達成できる姿を示している。一人一人が健康で、互いに学び合い、子どもも教職員も喜びが味わえる学校を目指して教育活動を展開していく。

## 6 年度の重点目標

(1) ともに学び合い意欲をもって学習する

- ①基礎・基本を確実に身に付ける。
- ②進んで友達と学び合いながら、自分の考えを深める。
- ③家庭学習の習慣を身に付ける。

(2) 自分や友達のよさを認め合い、支え合って行動する。

- ①時と場に応じて、明るいあいさつや優しい言葉遣いができる。
- ②自分や友達を大切にし、仲良く助け合う。

(3) 健康・安全に気を付け、進んで運動する

- ①進んで体を動かし、体力を高める。
- ②自分の健康や安全に関心をもち、規則正しく生活をする。

## 7 年度の努力事項

(1) 学ぶ意欲の醸成と確かな学力の定着

- ①授業や朝学習で、ドリルやプリント集などを活用して基礎基本の定着を図る。
- ②子ども同士のかかわり合いを大切に「学び合う」ための手立てを講じた授業を実施する。

(2) 豊かな心を育む教育の推進

- ①学級のみんで遊ぶ「みんなで遊ぼう」やなかよし班活動を実施する。
- ②「あいさつ運動」や「ふわふわ言葉」の大切さや使い方を学ぶ活動を実施する。
- ③6月、10月のいじめ見逃しゼロ強調月間と関連付けていじめ未然防止のための人権教育、道徳・同和教育を実施する。

(3) 健やかな体を育む教育の推進

- ①持久力向上のため、体づくり・体ほぐし運動を学期始めの体育の授業に取り入れる。
- ②「生活リズムモンスター」を実施する。

## 8 研修・研究

(1) 研究主題

「問いをもって、学び合う子どもの育成（2年次）」

(2) 研究内容

- ①基礎学力を向上させるための手立てや働きかけの工夫
  - ア 学習の定着度を把握しながら指導を進める。
  - イ 家庭との連携を図る。

②学習過程の工夫

- ア 学習過程を全校で統一する。
- イ 学び合いのコーディネートを工夫する。



# 藤塚小学校

住 所 新発田市藤塚浜4063番地3  
 TEL 0254-41-2073  
 FAX 0254-41-4557  
 URL <http://fujisyou.shibata.ed.jp/>

## 1 学校の概要

(1) 創立 明治 7年 6月15日

(2) 教職員



校長 関川 紀美子



教頭 平野 秀穂

教諭	9	養護教諭	1	事務職員	1
講師		補助教員			
介助員	1	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
男	8	12	7	10	12	6	7	62
女	8	9	2	13	12	6	0	50
計	16	21	9	23	24	12	7	112

## 2 地域の概要

藤塚浜は古来漁業で栄えた地区で、岩船・寺泊・出雲崎と並び称されていた。

漁業の仕事をおして昔から住民同士が強い連帯感で結ばれ、現在に至ってもその意識は受け継がれてきている。さらに、地域の自治意識も強く、伝統芸能を大切にしたり、神仏・祖先を敬ったりする心は今でも失われていない。

しかし、時代の変化とともに現在は、児童の保護者のほとんどが町内外での会社勤めで生計を立てている。そのため、保護者の価値観や教育的ニーズも多様化してきている。

このように、地域は社会状況に合わせて変化をしているが、保護者・地域住民の教育に対する関心は現在でも強い。保護者・地域住民は、地域に脈々と伝わってきた伝統文化や地域活動と学校の教育活動との融合と、おおらかでたくましい子どもの育成を望んでいる。そのため、学区全体で教育活動を盛り立て、伝統ある藤塚小学校を一層より良い学校にしようと積極的な支援・協力が行われている。

## 3 教育目標

正しく 明るく たくましく

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

同じ学年だけでなく、異学年でも子ども同士の仲が良い。しかし、学年が上がるとそれまでの関係が優先され、一人一人のよさを十分に発揮し合いながら協力することに難しさがある。また、自分の思いをうまく伝えられず、誤解が生じることもある。多くの異なる考えを聞く場が少ないため、多様な考えを受け入れたり、異なる立場の人に目を向けて考えたりすることが難しい子どももいる。児童の自己有用感を高め、自他のよさや違いを認め合い、共に伸びようとする共感的な人間関係の育成が必要である。

## 5 学校の経営方針

(1) 確かな学力の定着

基礎・基本を身に付け、進んで自分の考えを伝える子どもの育成

(2) 豊かな心の育成

思いやりの心をもって、進んで人にかかわろうとする子どもの育成

(3) 健やかな体の育成

運動と健康に関心をもち、進んで体力を高める子どもの育成

☆児童が安心して過ごせる環境づくり

○「いじめ防止基本方針」の共通理解と、いじめの未然防止、早期発見に向けた共通実践を図る。

○命を守るための防災教育、避難訓練、安全点検を充実させる。

○病気やアレルギー等の情報を共有し、必要に応じて対応訓練を実施する。

○「学校の新しい生活様式」の継続を推進する。

## 6 年度の重点目標

「かかわる力」の育成（2年次）

【知識・技能】 聞く

【思考力・判断力・表現力】 考える、伝える

【学びに向かう力・人間性】 認める、共に生きる

## 7 年度の努力事項

○「新発田市授業スタンダード」に基づく主体的・対話的で深い学びの実現に向けた共通実践

○同和教育を中核にした人権教育の推進による差別や偏見を許さない意識、態度の育成

○子ども一人一人が自らの伸びを実感できる手立ての工夫

## 8 研修・研究

(1) 研究主題

互いを認め合い、

共に生きようとする子どもの育成（2年次）

～かかわり合いを大切に、自分の生き方を見つめ直す  
人権教育、同和教育の授業実践をとおして～

(2) 研究内容

① 差別問題について、主体的に考えさせる資料作り、資料提示の工夫

② 意見交流の工夫

③ 差別を自分事にし、解決に向けて意欲を高める工夫

④ 振り返りの工夫



# 加治川小学校

住 所 新発田市上今泉366-1  
 TEL 0254-33-2435  
 FAX 0254-33-3999  
 URL [master@kaiikawa-e.shibata.ed.jp](mailto:master@kaiikawa-e.shibata.ed.jp)

## 1 学校の概要

(1) 創立 平成20年 4月 1日

### (2) 教職員



校長 安澤たい子



教頭 平井 涼

教諭	15	養護教諭	1	事務職員	1
講師	0	学習補助員	1	非常勤講師	0
介助員	4	用務手	1	給食運搬パート	1

### (3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	1	1	2	2	2	2	4	14
男	15	13	21	22	24	21	17	133
女	17	14	17	26	24	20	6	124
計	32	27	38	48	48	41	23	257

## 2 地域の概要

- 統合三小学校は平成17年の市町村合併前の旧加治川村の三小学校である。校区の西には加治川が流れ、東には日本最小の楡形山脈が連なる。中央をJR羽越本線国道7号線が南北に通っている。
- 校区西には旧中川小学校区の集落、中央には旧加治川小学校区の集落、北には旧新金塚小学校区の集落が存在する。
- 地域住民の学校を愛する気持ちは強く、協力を惜しまない。開校した当校の施設・設備や教育活動の充実に尽力してくれている。

## 3 教育目標

学び合い 高め合い 共に伸びる子

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- 学力向上の面から
  - 習得した知識や技能を活用する能力を伸ばす必要がある。
  - 自分の考えを一時的に伝えるのではなく、考えが深まるように、話し合う視点を明確にしたり、話し合うスキルの指導を充実させたりする必要がある。
- 豊かな心の育成の面から
  - 思いやりのある優しい子が多くいるが時として人を傷付けてしまう言動も見られる。児童一人一人に寄り添った指導に努め、豊かな人間性と社会性を育む必要がある。
- 体力向上の面から
  - 「運動面での二極化」「メディア」「肥満」「歯磨き」という課題に重点的に取り組む必要がある。

## 5 学校の経営方針

- 学力の向上  
学習習慣の確立、全校体制による授業改善の実施
- 道徳性の育成  
豊かな体験活動の充実、考え議論する道徳授業の実施
- 社会性の育成  
関わり合って学ぶ授業、保小中学校間の交流、異学年交流の推進
- 特別支援教育  
一人一人の違いを認め合う人間関係づくりに配慮した学級経営の推進
- 人権教育、同和教育  
互いの大切さを認め合う、支え合う人間関係づくりの推進

## 6 年度の重点目標

- (知育) 人の話を聞いて受けとめ、自分の思いや考えを伝える子
- (徳育) どうすればよいかよく考え、誰もが心地よい人間関係を築く子
- (体育) 安全で健康な生活のための知識を活かし、自分のために向かって取り組む子

### 【目指す学校像】

- 瞳輝き 笑顔あふれる学校
- ・子ども一人一人が個性を發揮し、生き生きとする学校
- ・だれにでもやさしく、思いやりのあふれる学校
- ・子どもも教職員も、にこやかに語り合える学校

## 7 年度の努力事項

- 学んだことを活用しながら、問題を解決する力を育てる。(知育)
  - 子どもが、「考えたい、仲間と話し合いたい」という思いをもてるような授業の工夫
  - 「話す・聞く力」の育成
- 力を合わせ、共に学校生活を楽しもうとする態度を育てる。(徳育)
  - 自分から進んであいさつしようとする意識の醸成
  - 相手を大切にしようとする態度の育成
- 体力向上に努め、健康な生活を過ごそうとする態度を育てる。(体育)
  - 運動を楽しむ体育授業等の工夫
  - 食と健康に関する指導の充実

## 8 研修・研究

- 研究主題  
主体的に学び、生き生きと表現する子どもの育成  
～「学び合う」活動の充実を目指して～
- 研究内容
  - 加治川小学校授業モデルの授業実践、改善
  - 見通しをもって主体的に学ぶための課題設定の工夫
  - 自他の考えを共有し、新しい考え方に気付かせる手立ての工夫



# 本丸中学校

住 所 新発田市緑町2丁目7番22号  
 TEL 0254-22-2525  
 FAX 0254-22-0342  
 URL <https://honmaru.shibata.ed.jp/>

## 1 学校の概要

(1) 創立 昭和22年 5月 1日

### (2) 教職員



校長 三浦 学



教頭 高橋 秀明

主幹教諭	1	教諭	32	養護教諭	1
事務職員	1	講師	1	助教諭	1
非常勤講師	1	用務手	1	介助員	6
スクール・サポート・スタッフ	1				

### (3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	5	5	5	5	20
男	82	80	84	19	265
女	78	67	83	12	240
計	160	147	167	31	505

## 2 地域の概要

学区には外ヶ輪小学校、二葉小学校、東豊小学校の3小学校がある。

本丸中学校区「明るい子どもを育てる会」で学校と地域等が連携・協力して子どもの健全育成を図っている。

全国で唯一の「本丸」の名称の基となる新発田城を地域のシンボルとして、平成29年度から外ヶ輪小学校児童と協力した「新発田城清掃活動」を行い、地域を愛し地域に貢献する本丸中学校を目指している。

## 3 教育目標

錬磨し 協調し 創造する生徒

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- 自己肯定感をもち、互いに認め合い高め合う力
  - 人間関係のトラブル、不適応の行動、SNS等に関係したトラブル、不適応・不登校生徒の減少に向けた教育活動の推進
  - 目標設定能力、自己決定能力、コミュニケーション能力、ライフスキル教育の推進
- 基礎・基本を身に付け、目的意識をもってたくましく生きる力
  - 思考活動等に裏打ちされた表現活動の推進と知識や技能の習得・活用による学習意欲の涵養、「指導と評価の一体化」による学力の定着
  - 単元指導計画の見直し及び全教職員による授業改善と授業力の向上のための取組
- 健康でたくましく生きる力
  - 健康三原則「調和のとれた食事」「適切な運動」「十分な休養・睡眠」について生涯学習の観点からの指導の充実

## 5 学校の経営方針

家庭や社会の生活スタイルや価値観が多様化し、保護者、地域の「本丸の教育」への期待は大きい。新学習指導要領の実施により、子どもたちの「生きる力」さらに「生き抜く力」を育むことが重要である。

教職員はこれまで以上に生徒・保護者に正対し、傾聴の姿勢で接しながら信頼関係を育むことを基に、全校体制による「知・徳・体」のバランスのとれた「本丸の教育」を一貫して推し進めていく。

「本丸の教育」の良さ、財産を継続、発展させ、「誇りのもてる学校」「笑顔が輝く学校」「命を守る学校」を共に創る。

## 6 年度の重点目標

- 生徒の自主的な取組を活発化させて自己肯定感を高め、共感的な人間関係を育てる。
- 目的意識をもって学ぶ意欲を高めるために、個に応じた指導を充実させる。
- 食に関する指導と体力向上の取組を強化し、健康でたくましく生きる力を育てる。

## 7 年度の努力事項

教職員が全校体制で組織を生かし、「チーム本丸」で目標を設定し、取組を明確化し、協働し仕事を行う。

- 「当たり前前」のことが「当たり前」にできる」学校を目指す。
- 「関わり合い」を計画的に取り入れ、良好な人間関係づくりと健全な自尊感情の育成を図る。
- 様々な活動や講演、体験の場の設定により、豊かな心の育成を図る。
- 新学習指導要領のもと授業を進め、適切に評価を行う。
- 新発田市授業スタンダードの自校化により、全教職員で授業力を高める取組を推進する。
- 健康教育、食育を推進し、健康増進・体力向上と望ましい生活習慣の確立を図る。
- 「しばたの心継承プロジェクト」の取組により、生徒にふるさとへの愛着と誇りを育む

## 8 研修・研究

### (1) 研究主題

自己有用感を育み、互いを認め高め合える生徒の育成～学級の所属感を高める取組の充実をとおして～

### (2) 研究内容

- 学級組織の統一すべき部分の再確認
- 話し合い活動の計画的実践
- 新発田市授業スタンダードに基づいた授業改善



# 第一中学校

住 所 新発田市御幸町4丁目5番25号  
 TEL 0254-23-1151  
 FAX 0254-24-1026  
 URL <http://shibata-1.shibata.ed.jp/>

## 1 学校の概要

(1) 創立 昭和22年 5月24日

(2) 教職員



校長 萩野 喜弘



教頭 丸山 久志

教諭	21	養護教諭	1	事務職員	2
講師	2	補助教員	0	図書館司書	1
介助員	5	用務手	1	SSS	1
SC	1	運搬パート	1	ALT	1

(3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	3	4	4	3	14
男	44	62	56	17	179
女	58	61	51	5	175
計	102	123	107	22	354

## 2 地域の概要

本校は、新発田市の中央部に位置し、11町内からなる新旧混在している地区である。学区には御免町小学校、東豊小学校の2小学校がある。

保護者や地域の住民は、学校教育に関心が高く、協力的である。第一中学校区「未来を築く子どもを育てる会」を組織し、学校と地域が連携して児童生徒の健全育成を図っている。

## 3 教育目標

目標をもち  
 自ら考え  
 ねばり強く実践する生徒

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

(1) 知の領域

- ①十分に思考する資質・能力を伸ばす。
- ②家庭学習に対する意欲を高める。

(2) 徳の領域

- ①自己肯定感を高める。
- ②相手の立場になって考える力を高める。

(3) 体の領域

- ①総合的な体力づくりへの意欲を高める。
- ②メディア対応力を定着させる。

## 5 学校の経営方針

(1) 目指す学校像

笑顔あふれる学校 魅力ある学校  
～保護者・地域とともに歩む学校づくり～

(2) 目指す授業像

課題の発見と課題の解決に向けた「主体的・対話的で深い学び」のある授業の創造

(3) 開かれた学校づくりの推進

(4) 生徒と向き合うゆとりの確保

(5) 配慮事項

- ①確実な組織マネジメント（PDCA）サイクルの実行による教育活動の見直し
- ②短期及び長期の見通しを踏まえた計画・立案・審議
- ③生徒による地域貢献活動の推進

## 6 年度の重点目標

(1) 知の領域

共に学び合い、思考を深め、広げていく生徒の育成

(2) 徳の領域

思いやりの心と強い正義感をもち、互いに信頼し合う生徒の育成

(3) 体の領域

基本的な生活習慣を身に付け、進んで運動の楽しさや喜びを求める生徒の育成

## 7 年度の努力事項

(1) 知の領域

- ①「目標」「課題」「まとめ」「振り返り」のある授業
- ②「思考力・判断力・表現力」を伸ばす授業
- ③自ら取り組む家庭学習の工夫

(2) 徳の領域

- ①「考え、議論する道徳」の実践
- ②全校体制で取り組むいじめ見逃しゼロ活動（人権教育、同和教育）の充実（SNS対応も含む）
- ③異学年交流活動、職場体験の充実

(3) 体の領域

- ①基本的な生活習慣の定着（食育も含む）
- ②メディア接触をコントロールする力の育成
- ③体育科・部活動での体力向上

## 8 研修・研究

(1) 研究主題

「主体的・対話的で深い学び」を実現する生徒の育成  
～対話的な学びの追求～

(2) 研究内容

- ①「対話的な学び」を実現するための具体的な手立て
  - 全教員が授業を公開し実践研修を進める。
- ②家庭学習の充実に向けた取組の推進
  - 「家庭学習タイム」を終学活前に設定し、家庭学習の立案を行う。



# 猿橋中学校

住所 新発田市住吉町1丁目7番1号  
 TEL 0254-23-1175  
 FAX 0254-23-6185  
 URL saruhashi-j.shibata.ed.jp

## 1 学校の概要

(1) 創立 昭和24年 4月 1日

(2) 教職員



校長 本間 道夫



教頭 清野 正康

主幹教諭	1	教諭	35	事務職員	2
講師	4	養護教諭	1	用務手	1
介助員	7	スクールサポート スタッフ	1	図書館事務	1
補助教員	1				

(3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	6	5	6	7	24
男	97	88	98	26	309
女	82	85	82	7	256
計	179	173	180	33	565

## 2 地域の概要

新発田市西部に位置し、猿橋小学校と住吉小学校からほぼ同数入学してくる。校区は、市外周辺からの交通の便がよく、大型店舗等ができ宅地造成も進み、年々人口が増加している。

保護者は、教育的関心が高く、学校に対する期待が大きい。猿橋中学校区すこやかな子どもを育てる会を中心に、生徒の健全な心身の発達に向けた活動など、学校の教育活動に協力的である。

## 3 教育目標

『正しく 強く 大らかに』

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

生徒は、学習に対して友だちと学び合いながら前向きに取り組んでいる。また、部活動や生徒会活動、ボランティア活動に積極的に取り組み、自らを高めようとする意欲や学校に対する愛校心が高い。

さらに、お互いを認め高め合う互恵的な学びや活動を通して、正しいことを強い意志をもって行動し、仲間や教師を受け入れる広く大らかな気持ちをもった生徒を育成する。

## 5 学校の経営方針

学校経営の方向性を人権感覚を兼ね備えた「豊かな心を育む教育の充実」をベースとした「確かな学力の向上」「健やかな身体の育成」とし、教育目標「正しく 強く 大らかに」の具現化に向けて、特色ある学校づくりに努めていく。

### 目指す学校の姿

- 生徒が毎日笑顔で登校し、充実した生活を送り、笑顔で下校できる学校
- 保護者・地域など、関わるすべての人が当事者意識をもって取り組む学校

## 6 年度の重点目標

- (1) 正しい心の成長（豊かな心）を育む教育の充実
- (2) 確かな学力の向上を目指す教育の推進
- (3) 健やかな身体の育成
- (4) 地域・保護者・関係機関との連携・協働の推進

## 7 年度の努力事項

- (1) 道徳の授業はもとより学校生活のあらゆる場面で人権感覚を磨き、他人の良さを認め合い、支え合うことのできる集団の育成に努める。  
(人権教育、かかわる同和教育の推進)
- (2) 社会性育成に向けて年間を通じて社会貢献・ボランティア活動を取り入れ、生徒の自尊感情、自己有用感を高める。
- (3) 「生徒の良さ」を見つけ、褒めて伸ばす教育活動を展開する。
- (4) 「命」の大切さを学ぶ機会をつくり、自他の生命尊重の心を育てる。「命の大切さ」をテーマとしたPTA講演会等。
- (5) 教科の授業および特別活動や部活動等を通じて生徒同士および生徒と教師の関わり合う時間の充実を図る。
- (6) 常にアンテナを高く、生徒の声に耳を傾け、丁寧に話を聞く姿勢をもつ。
- (7) 授業の目標、課題、授業の流れを明確にし、生徒の学習意欲を喚起し、生徒が主体的に学ぶことができるように1時間の授業を工夫する。
- (8) 教師から生徒への一方向の指導や単なる知識の伝達ではなく、生徒同士の意見交換や生徒と教師の関わり合いを大切にした授業実践を工夫する。
- (9) ふるさと新発田を愛する心を育てる。「新発田の心 継承プロジェクト」の推進。

## 8 研修・研究

### (1) 研究主題

『互恵的に学び、共に成長できる生徒の育成』

### (2) 研究内容

- ① 2段階の課題がある授業の展開
  - ア 共有の課題とジャンプの課題による授業の構成
  - イ 基礎学力の習得と学習意欲の喚起、学習の振り返り
- ② 学習形態の工夫
  - ア コの字型机配置による仲間の意識化
  - イ 4人グループによる学び合い
- ③ 全員が学習に参加するための基礎づくり
  - ア 学習の見通しをもたせる工夫
  - イ ユニバーサルデザインの推進によるシンプル化
  - ウ 学習の振り返りによる共有化
  - エ 「学習三原則」と「学びの作法」の継続指導
- ④ 家庭学習の習慣化の定着
  - ア 自主学習メニューによる課題提示
  - イ 生活スケジュールによる学習時間の確保



# 東中学校

住 所 新発田市五十公野4981番地  
 TEL 0254-22-3824  
 FAX 0254-26-3543  
 URL master@higashi.shibata.ed.jp

## 1 学校の概要

(1) 創立 昭和47年 4月 1日

### (2) 教職員



校長 新保 英博



教頭 小野 俊巳

教諭	15	養護教諭	1	事務職員	1
講師	2	補助教員	1	A L T	1
介助員	2	用務手	1	スクールカウンセラー	1
図書館支援員	1	給食運搬	1		

### (3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	2	3	3	2	10
男	37	35	42	6	120
女	27	38	30	6	101
計	64	73	72	12	221

## 2 地域の概要

当校は、新発田市の南東部に位置し、学区は北西から南東にかけて18.5km、北から西10km、総面積213.59平方kmと広大な地域を有する。

東に二王子・五頭・飯豊の連峰を望み、加治川や荒川沿いに平地が開ける。従来から稲作と畑作等の農業が盛んである。

学区には、松浦地区、五十公野地区、米倉・赤谷地区の3区がある。平成30年度に各地区の小学校が統合し、東小学校が発足した。

学区にはスポーツ施設や公園などがあり、学校周辺は緑豊かな環境である。

## 3 教育目標

「進んであげむ 心ゆたかな生徒」

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

当校の生徒は、素直でまじめであり、学習にこつこつと真面目に取り組む。地域の方々への挨拶も非常によい。体育祭や音楽祭の学校行事には真剣に取り組む、達成感・連帯感を味わっている。

一方で、人間関係づくりが不得手なことが原因と思われる様々なトラブルが見られる。生徒に、かわり合う力・社会性などの「基礎的・汎用的能力」を育成することが、豊かな学力を育むこととともに、当校の課題となっている。

そのため、学校行事等の教育活動において、ねらいを明確にし、生徒に、「基礎的・汎用的能力」を身に付けさせる。かわり、成功、感動の体験を意図的に作り出すことで、生徒が互いに教え合い、認め合い、鍛え合う人間関係づくりを進めていく。

## 5 学校の経営方針

### (1) 社会性育成の充実

「物事をしっかり考え、正しく判断し、行動がとれる生徒」の育成。

### (2) 心身の健康、体力向上、基本的生活習慣の確立

「心も身体も健康的な生活を営み、よりよい基本的生活習慣を身に付けた生徒」の育成

### (3) 基本的学力の定着

「自分の生き方と向き合い、あきらめずに目標に向かって学びに向き合う生徒」の育成

## 6 年度の重点目標

### (1) 認め合って生きる生徒

- ①誰も排除しない集団をつくる。
- ②人権感覚を身に付ける。
- ③教科「道徳」との連携を強化する。
- ④郷土を愛する心を醸成する。

### (2) 鍛え合って育つ生徒

- ①運動する楽しさや喜びを体感させる。
- ②好ましい生活習慣を身に付けさせる。
- ③正しいメディア接触の習慣づくりを推進する。
- ④活力ある身体づくりを推進する。
- ⑤衣・食・住の習慣づくりを推進する。

### (3) 教え合って学ぶ生徒

- ①「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」を実感させる。
- ②「学び合い」をとおし、他の意見や考えから学ばせる。
- ③進んで家庭学習に取り組ませる。

## 7 年度の努力事項

### (1) 認め合って生きる生徒

- ①全職員が全教育活動で生徒と向き合う。
- ②教員が、人権感覚を高める声掛けを行い、自身の生き方を語る。
- ③「考え、議論する道徳」を実践する。
- ④郷土に誇りをもたせる。

### (2) 鍛え合って育つ生徒

- ①活動の見通しをもたせた指導を行う。
- ②歯磨き習慣定着のための取組、点検等を行う。
- ③メディアリテラシーをテーマに集会等を実施する。保健だよりなどで啓発を行う。
- ④自身の心身の課題や目標を把握させる。
- ⑤生活アンケートによる個に応じた指導を行う。

### (3) 教え合って学ぶ生徒

- ①普段の授業の取組をもとにした研修会を行う。
- ②全員が授業公開を行い、授業改善に生かす。
- ③自主的な家庭学習を、学年ごとに指導する。

## 8 研修・研究

### (1) 研究主題

「かわり合いを大切にし、互いに高め合う生徒の育成」  
 ～深い学びを実現するための「学習課題」と「まとめ」のあり方～

### (2) 研究内容

- ①深い学びを実現するための「学習課題」の工夫  
生徒にどのような力を付けさせるかを明確に  
もち、何を学ばせるかに焦点付けた学習課題を  
用意する。
- ②「学習課題」に正対した「まとめ」の在り方  
何を学んだかを実感させるために分かりやすく  
板書する。
- ③主体的・対話的な学びのための授業過程の工夫  
ねらいに合わせて学習形態を工夫し、話し合い  
や交流の視点を明確にもたせる。

## 1 学校の概要

(1) 創立 昭和22年 5月 1日

(2) 教職員



校長 長井 稔



教頭 金谷 良弓

教諭	10	養護教諭	1	事務職員	1
講師	2	図書館支援員	1	ALT	1
介助員	1	用務手	1	スクールカウンセラー	1

(3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	2	1	1	1	5
男	22	12	10	4	48
女	21	12	15	0	48
計	43	24	25	4	96

## 2 地域の概要

市域の東端に位置し、加治川東岸から二王子西麓までの広大な田園地帯に点在する25集落から成り、大部分の生徒が自転車で通学している。

平成26年度から川東小学校・竹俣小学校・車野小学校が統合し、新たに川東小学校が新設され、中学校区の小学校設置数は1校となった。

保護者のほとんどが昔からこの地に住居を構えて生活している。三世代家庭がかなりあり、地域への愛着は強い。教育に対する考え方は多様化しており、学校への期待は大きい。そのニーズを把握することが難しくなっている。

近年、生徒数が減少の一途を辿っており、「教育村」と称されてきた川東地区にも、将来に向け、新しい教育課題が生じてきている。

## 3 教育目標

**正しく 強く 心豊かに**

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

(1) 「知の分野」

素直で何事にも真面目に取り組む生徒が多いが受動的である。

- ①探求的な意欲や態度を育てる。
- ②自主的な学習態度や学習習慣を育てる。

(2) 「徳の分野」

一小一中のため人間関係が狭く固定化しており、自分の能力を十分に発揮できないところがある。

- ①自己肯定感を高めながら、お互いを尊重し切磋琢磨する人間関係を築く。
- ②夢や目標に向かって努力し続ける心を育てる。

(3) 「体の分野」

- ①体力テストで持久力が県平均より劣っているので持久力を高める。
- ②栄養バランスを考えた食事、メディアコントロールを考えた生活など、家庭と連携して生活習慣を向上する。

## 5 学校の経営方針

(1) 育てたい生徒像

- ①かかわり合って学び合い、主体的・意欲的に学習に取り組む生徒
- ②自他のよさを認め合い、勇気をもって挑戦する生徒
- ③心身ともに健康で「心を豊かにする活動」を日常実践できる生徒

【心を豊かにする活動4項目】

- ア 元気はつらつ挨拶・返事
- イ 学舎（まなびや）に感謝する清掃
- ウ 食の恵みに感謝する給食
- エ 「川中大好き」校歌斉唱

(2) 経営の重点

- ①カリキュラム・マネジメントに基づく指導計画を作成・実施し、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。
- ②知識・技能の確かな習得を基盤に、自らの考えをもち、互いに高め合う生徒を育成する。
- ③ストレス・マネジメントを教育活動に取り入れ、知・徳・体のバランスのよい成長を図る。
- ④生徒が前面に出る活動を推進する。
- ⑤家庭や地域との連携強化を図る。
- ⑥地域コミュニティの中核としての学校づくりを促進する。

## 6 年度の重点目標

- (1) 「知の分野」：各教科の本質に沿った「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、思考力、判断力、表現力等の育成を図る教育の推進。
- (2) 「徳の分野」：命を大切にす、豊かな心を育てる教育の推進
- (3) 「体の分野」：たくましく生きる力を育む健康体力の向上を図る教育の推進

## 7 年度の努力事項

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」を視点とした「学び合い」を取り入れた授業改善を進める。
- (2) 主体的に家庭学習に取り組む生徒を育てる。
- (3) 全教育活動をストレス・マネジメントの視点で捉え、自他のよさを知り、許し励ましあい高め合い、可能性に挑戦する実践力を育てる。
- (4) 生徒の人権を尊重し、よさを認め勇気づけるアプローチを繰り返し、自尊感情を高める。
- (5) 情報発信の充実を図る。
- (6) 「二王子会」組織を機能させ、保小中連携を強化する。

## 8 研修・研究

(1) 研究主題

**主体的に学ぶ生徒の育成  
～授業改善と評価方法の見直し～**

(2) 研究内容

- ①単元や題材ごとのガイダンスを丁寧に行い、教員と生徒が学びの方向を共有した授業を展開する。  
⇒「ガイダンス用の資料作成」
- ②新発田市授業スタンダードをもとにした「川中UDL」を意識した授業を展開する。  
⇒学期ごとの自己チェックで授業の振り返りを行う。  
ア 授業の目標と流れの提示  
イ 生徒が追究したくなる課題の提示や発問の工夫  
ウ 1時間の学習内容が分かる板書  
エ 本時のまとめやポイントの明示  
オ 本時の振り返りの時間の確保
- ③単元の指導計画・評価計画を整備し、指導と評価の一体化を図る。  
⇒計画と実際の指導の結果を資料として蓄積し、よりよい授業の在り方を確立していく。



# 七葉中学校

住所 新発田市上館乙84番地の2  
 TEL 0254-22-3524  
 FAX 0254-26-3621  
 URL nanaha-j.shibata.ed.jp

## 1 学校の概要

(1) 創立 昭和55年 4月 1日

### (2) 教職員



校長 野澤 一吉



教頭 今野由紀子

教諭	10	養護教諭	1	事務職員	1
講師	1	補助教員	1	栄養教諭	1
介助員	1	用務手	1		

### (3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	2	1	2	2	7
男	22	12	18	4	56
女	17	16	23	1	57
計	39	28	41	5	113

## 2 地域の概要

学区は、新発田市の北東に位置し、要害山と加治川に囲まれた自然豊かな地域である。また、学区は国道7号線が通っていることから住宅地の開発も進んでいる。加治川、坂井川沿いに、菅谷・熊出地区から上館・三日市地区までと広大である。コミュニティバスを利用し、通学している生徒もいる。

## 3 教育目標

「磨け自己 高めよ理想」

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

### (1) 知の領域

探求的な意欲や態度、自らの課題を見付け解決する姿勢や実践力が不十分である。自主的な態度を高めていくとともに、自ら問いをもちその解決に向けて主体的に向き合っていく生徒を育成する。

### (2) 徳の領域

きまりを遵守する生徒が多く、グループ活動や様々な活動に真面目に取り組み協働することができる。反面、自分のよさを認識し将来の見通しをもつことが不十分な生徒が約20%いる。自己肯定感を高め、自己の生き方を主体的に考えていく生徒を育成する。

### (3) 体の領域

メディアの利用に伴い、生活習慣を見直す必要がある生徒が増えている。生活習慣の向上に向けて、家庭との連携を進めていく。

## 5 学校の経営方針

### (1) 目指す学校の姿

創生 七葉中 ～主体となって創生する生徒～

### (2) 経営の根幹

生徒が主体になり、学校内外で活躍する力を身に付け、新たな自分を導き出す学校を目指す。生徒が主体になるには『生徒が多様な集団で、よさを追求し、自治の精神で活動を実践しながら、今までにない「力」や「人間性」に気付く「学び」をする』ことである。教職員は、生徒の未知なものを導き出すために、教え育む教師として成長し、保護者・地域のパートナーとして、「学び」を実現するための教育観を再構築していく。

### (3) 目指す生徒の姿

「社会を担う人」を念頭に置きながら、「学校内外で主体となって活躍させることで、「より高次な人としての在り方を追求する生徒」を目指す。

## 6 年度の重点目標

### (1) 【知】知識や技能を活用する生徒

①言語活動を重点として、知識・技能を活用する授業を実践する。  
 ②研究主題に迫る「深い学び」についての授業モデルを検証する。

### (2) 【徳】共に認め合い、自分の生き方を考える生徒

①「考え、議論する道徳」の授業を実践する。  
 ②生徒会が、月目標を定め、思いやり・協力・感謝の視点で自治活動に取り組む。

### (3) 【体】健康・体力の向上に努める生徒

①目標達成に向けた体力向上プログラムを作成し実施する（1学校1取組）。

## 7 年度の努力事項

### (1) 全校体制での特別支援教育の取組

生徒や保護者と相談し、合理的配慮の下で、指導・支援内容を確認する。

### (2) 人権尊重の心を育てる人権教育、同和教育の取組

同和教育を中核とした人権教育に取り組み、かわる同和教育を日常的に行う。

### (3) 生き方を追求するキャリア教育の取組

地域や外部人材を活用して、体験学習やグループ協議などの活動を推進する。

### (4) 新学習指導要領の趣旨に基づいた教育課程の編成

教育計画の実践を通して、研修会等で教育課程の評価・改善を推進する。

### (5) 開かれた学校づくりの取組

学校経営方針、いじめ予防の取組等を保護者に説明する。

## 8 研修・研究

### (1) 研究主題

主体的に生きる生徒の育成  
 ～自らの問いをもとに課題を設定し、  
 その解決に努める生徒を目指して～

### (2) 研究内容

①問いをもとに課題を設定し、その解決に努めるための手立ての工夫

年2回、研究主題に基づいた授業を公開し、授業参観シートで評価・アドバイスをし合う。

②「新発田市授業スタンダード」「七葉中Tチェック7」を基にした授業

「めあて」「課題」「まとめ」を板書する。「振り返り」を位置付ける。



# 佐々木中学校

住 所 新発田市則清102  
 TEL 0254-27-2505  
 FAX 0254-27-2229  
 URL sasaki-j.shibata.ed.jp

## 1 学校の概要

(1) 創立 昭和22年 5月17日

(2) 教職員



校長 大滝 健



教頭 笹木 綾子

教諭	8	養護教諭	1	事務職員	1
講師	1	補助教員	0		
介助員	0	用務手	2		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	1	1	1	1	4
男	4	9	13	1	27
女	15	8	4	1	28
計	19	17	17	2	55

## 2 地域の概要

純農村地域で、佐々木村として、早くから、一小一中で学校を設置していた。

学校は、大型商業施設などが立ち並ぶ新発田市の新興住宅地の近くに位置しているが、市内の他の中学校との交流は比較的少ない。

少人数であるためか、保護者は学校行事やPTA活動に大変協力的である。また、佐々木中学校体育文化後援会、佐々木中学校同窓会、さわやか佐々木っ子育成会、自治会を中心としたコミュニティー等、学校をサポートする組織も整っている。

## 3 教育目標

よく考え、進んで実践する生徒

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

○地域の特色を最大限に生かし、地域とともに歩む信頼される学校

- ・安全、安心で安定し、生徒の可能性や良さを伸ばせる学校
- ・教職員が生き生きと活動し、やりがいをもって働ける学校

○主体性と協働性を身に付け、最後までやりぬく生徒

- ・主体的・協働的な学習態度で確かな学力を身に付けている生徒
- ・運動を好み、望ましい生活習慣が身に付いている生徒

○学校の目標を共有し、協働して課題解決に取り組める教職員

- ・生徒の心に寄り添い、成長を願い自己研鑽に励む教職員
- ・地域とかかわり、地域の方や保護者に丁寧に対応する教職員

## 5 学校の経営方針

○教育活動では、「鍛える・広げる・深める」を意識し活動を構成する。

- ・前年度のキーワード「鍛える・広げる・深める」を受け継ぐ。

○教師の構えとしては、「つなげる」こと（人と人・知識・物、未来へ など）を意識して指導・支援する。

以上2点を意識し、重点目標、教育目標の達成に努める。

## 6 年度の重点目標

主体性と協働性を身に付け、最後までやり抜く生徒の育成

～豊かな体験活動と振り返り活動を通して～

○目的を共有し、見通しをもち粘り強く課題に取り組む生徒の育成

○認め合い、協力し合い、高め合える生徒の育成

○心身ともに健康でたくましい生徒の育成

○佐々木地区を知り、誇りに思う生徒の育成

## 7 年度の努力事項

○学習アンケートで「授業に意欲的に取り組んだ」と肯定的な回答をする生徒の割合を全教科で全校平均80%以上にする。

○学習アンケートで「授業がよく分かる」と肯定的な回答をする生徒の割合を全教科で全校平均80%以上にする。

○「自分の良さを見付け、自分を伸ばす」と肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。

○「他の人の立場や気持ちを思いやる」と肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。

○「自分からあいさつをする」と回答する生徒の割合を85%以上にする。

○体力テストの記録が、4種目以上、前年度の自分の記録を更新する。

○2回目の計測で、3種目以上、1回目の記録を更新する。

○メディア利用時間が平日2時間以内と回答する生徒の割合を80%以上にする。

## 8 研修・研究

(1) 研究主題

自他の成長のために、考えて行動できる生徒の育成

(2) 研究内容

①人権尊重の視点に立った教育活動

- ・自分が大切にされていることを実感できる学級経営
- ・互いの良さを認め合い、高め合える振り返りの工夫

②人権教育、同和教育の授業実践

- ・「生きる」を活用した授業研修の実施（全担任による研究授業、全体協議会の実施）
- ・外部指導者の指導案検討からの参画

③家庭・地域との連携

- ・便り等で人権教育に関する学習内容と生徒の学びの姿を伝え、学校での取組を共有



# 豊浦中学校

住 所 新発田市乙次50番地  
 TEL 0254-24-4492  
 FAX 0254-24-4450  
 URL toyoura.shibata.ed.jp

## 1 学校の概要

(1) 創立 昭和50年 4月 1日

### (2) 教職員



校長 伊藤 真哉



教頭 山本 亘

教諭	12	養護教諭	1	事務職員	1
講師	1	補助教員	1	非常勤講師	2
介助員	1	用務手	2	調理手	4
A L T	1	S C	1	図書館支援員	1
臨時栄養士	1	拠点校指導教員	1		

### (3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	2	2	2	2	8
男	26	29	26	7	88
女	16	11	26	2	55
計	42	40	52	9	143

## 2 地域の概要

- 校区の面積の半分以上が田畑という穀倉地帯であり、東に真木山、西に福島潟を臨む美しく雄大な自然の中に位置している。
- 校区には月岡温泉があり、近年の交通網の整備と相まって観光地としても発展してきている。
- 保護者の学校への期待は大きく、大変協力的であり生徒の育成を図る教職員の責務は大きい。

## 3 教育目標

言葉と心のキャッチボール  
 ~Let's play catch  
 with our words and hearts.~

## 4 学校の課題 (伸ばしたいところ)

- (1) 夢や目標に向かってねばり強く挑戦し、自分の可能性を伸ばす生徒の育成
- (2) 自他を大切にし、時と場に応じた礼儀正しい行動がとれる生徒の育成
- (3) 感謝の心を持ち、仲間や地域のために貢献することができる生徒の育成

## 5 学校の経営方針

- (1) 子どもの笑顔と感動があふれる。安全で安心な学校
- (2) 学校・家庭・地域の協働で、子どもの成長を実感できる学校
- (3) 保護者や地域から親しまれ信頼される、開かれた学校

## 6 年度の重点目標

- (1) 「主体的・対話的で、深い学び」のある授業の実現(知)
- (2) 自他を大切にしている実践力を育む特別活動の充実(徳)
- (3) 家庭と連携した生活習慣の改善(体)

## 7 年度の努力事項

- (1) 「主体的・対話的で、深い学び」のある授業の実現(知)
  - ① 子どもの学びを軸に授業を設計する(単元デザイン)。
  - ② 各教科の「見方・考え方」を働かせて「深い学び」を実現する授業づくりを行う。
- (2) 自他を大切にしている実践力を育む特別活動の充実(徳)
  - ① 生徒会活動や学級活動での話し合い活動を大切に、身近に起きている自分たちの問題や課題を自分たちの手で解決させる環境づくり、場づくりをする。
  - ② 学校生活や学校行事の中で、生徒の自己肯定感や自己有用感を高める活動を充実させる。
- (3) 家庭と連携した生活習慣の改善(体)
  - ① 生活改善ウィークを通して生徒の実態を保護者と共有し、望ましい生活リズムの習慣化を図るために、連携して指導にあたる。
  - ② 生徒会とPTAの合意に基づいて策定した「豊中SNSルール」を基に家庭と連携してSNSの正しい使用について、継続して働き掛ける。

## 8 研修・研究

### (1) 研究主題

主体的・対話的で深い学びの実現  
 ~各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせて、深い学びを実現する単元づくりの工夫~

### (2) 研究内容

- ① 目指す授業像  
 授業デザインを生徒と職員が共有し、本時が、長期的な目的、連続性の中に位置づけられている授業
- ② 授業の進め方の向上  
 ア ビジョンの共有と自己研修  
 下記の職員研修を行い、ビジョンの共有と自己研修の促進を図る。
  - ・校内研修
  - ・豊浦地区教職員協議会学力向上部会主催の研修
  - ・夏季中学校区研修
 イ 単元デザインと一人一授業への取組  
 「単元デザインシート」を作成・活用し、授業力向上を図る。



# 紫雲寺中学校

住 所 新発田市真野原外3499番地  
 TEL 0254-41-4000  
 FAX 0254-41-2235  
 URL <http://shiunjihs.shibata.ed.jp/>

## 1 学校の概要

(1) 創立 昭和24年 4月 1日

### (2) 教職員



校長 山田 清



教頭 新井 達夫

教諭	14	養護教諭	1	事務職員	1
講師	1	補助教員	1		
介助員	1	用務手	1		

### (3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	2	2	2	2	8
男	31	35	26	6	98
女	25	27	32		84
計	56	62	58	6	182

## 2 地域の概要

- 紫雲寺地区（旧紫雲寺町）は新発田市の北西に位置している。総面積は26.58平方キロメートルで、約2,000世帯7,000人が居住している。
- 3つの小学校区（紫雲寺、米子、藤塚）から成り立っており、地域は畑や松林に囲まれ、緑豊かな自然環境にある。
- 三世代同居が多く、生徒は家族の中で愛情を受けて育っている。

## 3 教育目標

『知性・自主・実践・協調』

知性を磨き、自主自立の精神を高め、たくましい実践力を養い、協力して社会の発展に貢献する人間を育成する。

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- たくましさを備え、互いに認め合える生徒
  - 多様性を受け入れ、いじめや差別のない社会をつくり上げようとする生徒
  - ありのままの自分を受け入れ、感謝され、感謝することへの喜びを感じ、自分の成長を感じられる生徒
  - より良い学校生活を創り上げるために、他者と協力しながら問題解決を図る意欲や態度をもった生徒
- 「分かった！できた！」と実感する生徒
  - 主体的に問題を発見し、解決しようと問題に向き合う生徒
  - 新たな問題発見に主体的に向き合える生徒
- 主体的に生活リズムを整えた生活ができる生徒
  - 「アウトメディア」の意識を高め、自律的に行動できる生徒
  - 「早寝・早起き・朝ご飯」が励行でき、生活習慣を整えられる生徒

## 5 学校の経営方針

『温かく、元気な学校』

- ◎学校は生徒に「自信」と「意欲」をもたせる場  
 自信…学力への自信、人間力への自信、体力への自信  
 意欲…自己を向上させようという意欲  
     身の回りの状況を向上させようという意欲  
     社会、世界の状況を向上させようという意欲
- ◎学校は失敗をし、失敗から学び、  
     たくましく成長する場  
     心理的安全性…失敗して恥をかいても大丈夫という安心感  
     たくましさ…失敗をしても、否定されても立ち上がる強さ

## 6 年度の重点目標

- 人権感覚・望ましい社会性（自己有用感・他者と協力しながら問題解決を図る力等）の育成
- 確かな学力（読解力を基にした思考力・判断力・表現力等）の育成

## 7 年度の努力事項

- 人権感覚・望ましい社会性の育成
  - ①行事・日常生活におけるピア・サポートの充実  
 ア 各行事等で生徒の交流場面の設定
  - ②「考え、議論する」道徳の実践  
 ア 生徒の考えや変容を蓄積した評価の工夫
  - ③人権教育、同和教育の充実  
 ア いじめや差別に対する人権感覚、豊かな感性を高める
- 確かな学力(読解力を基にした思考力・判断力・表現力等)の育成
  - ①「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」が実感できる授業づくりの推進  
 ア 「主体的・対話的で深い学び」の推進と指導計画、評価計画の改善
  - ②家庭学習習慣確立のための取組  
 ア 授業で生きる学習課題の工夫

## 8 研修・研究

- 研究主題  
 分かった！できた！を実感し、自ら進んで学ぶ生徒の育成
- 研究内容
  - ①分かった！できた！を実感する生徒  
 ア UDLを基盤とする授業の展開  
 イ 関わり、学び合う授業の推進  
 ウ We b配信システム、ワーク等の活用  
 エ 授業と関連する家庭学習の工夫
  - ②たくましさを備え、互いに認め合う生徒  
 ア 行事・日常生活における認め合い・支え合いの充実  
 イ 「考え、議論する」道徳の実践  
 ウ 人権教育、同和教育の充実
  - ③主体的に生活リズムを整えた生活ができる生徒  
 ア メディアを使う時間を2時間以内とする取組  
 イ 「早寝・早起き・朝ご飯」啓発運動



# 加治川中学校

住 所 新発田市市川口330番地  
 TEL 0254-33-2214  
 FAX 0254-33-3354  
 URL kajikawa-j.shibata.ed.jp

## 1 学校の概要

(1) 創立 昭和55年 4月 1日

### (2) 教職員



校長 星 渉



教頭 藤原 明

教諭	11	養護教諭	1	事務職員	1
講師	4	補助教員	1		
介助員	0	用務手	1		

### (3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	2	2	2	2	8
男	14	20	21	2	57
女	21	22	22	2	67
計	35	42	43	4	124

## 2 地域の概要

- 新発田市街と胎内市街の中間に位置し、JR羽越線と国道7号線が加治川地域の中央部を南北に縦断し、日本海沿岸東北自動車道も整備されている。
- 純農村地域ではあるが、兼業農家の増加、振興住宅地の人口増により変化が起きている。児童・生徒数はわずかに減少傾向にある。
- 生徒のしつけや社会的ルール等、一般的に家庭の教育力が高い。地域をあげて教育に対する期待も大きく、健全育成に協力する姿勢がある。

## 3 教育目標

豊かな知性を育て きびしく自己をきたえ 高め合う生徒

## 4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- 確かな学力の向上
  - 学力分布の二極化の是正に向けての基礎的事項の定着を図る「共有課題」と中位上位層を伸ばす「ジャンプ課題」の設定。「受信・思考・発信」や「聴き合う関係」一人も独りにしないで120%支え合う「ケアの関係」を大切に授業。保護者と連携したPTA共通課題「家庭学習の習慣化」
  - 社会性や人間関係力の育成
    - 望ましい人間関係の構築に向け、相手の気持ちの想像できる「思いやりの達人」や相手意識をもって自分の気持ちを伝える「自己表現力の達人」を目指す意識の醸成
    - 将来の生き方を真剣に考えることができる資質・能力の育成
      - 自己実現のためのキャリア教育や「考え、議論する道徳授業」、いじめ予防、人権教育・同和教育
  - たくましく生きるための健康や体力、望ましい生活習慣の形成
    - 三点固定（起床時間、家庭学習開始時間、就寝時間の固定）や食育、眠育の取組

## 5 学校の経営方針

人とのかかわり合いを通して、望ましい人間関係を築く能力の育成に向け学力と人間関係力を一体とした人間力を高める。

- 授業の充実：全校体制で、「受信・思考・発信の聴き合い学び合う授業」を教師と生徒が創り上げるとともに、分からなさを大事にし分かるまで考え追究する姿勢を育てる。
- 家庭学習の習慣化：家庭と学校が連携しPTA共通課題「家庭学習の習慣化」に取り組む。学校評価等で分析し生徒や保護者にフィードバックする。
- 生徒会活動の充実：「生徒が生徒に働きかける教育効果」を最大限生かす。生徒が「自信の付く事実」を積み上げることで、自己肯定感を育み、次へのエネルギーと生き抜く力を高める。

## 6 年度の重点目標

目指す生徒像

- し** 思考し学び合う生徒（「学び合い」）
- は** 場と時を大切にする生徒（時間管理能力）
- た** 大夢を抱く生徒（キャリア教育・道徳教育）
- か** かかわりいい関係をつくる生徒（人間関係力）
- じ** 自信の付く事実を積み上げる生徒（3つの喜び）
- か** かけがえのない自分どう生きるかを問い続ける生徒（道徳教育・キャリア教育）
- わ** 分からなさを大事にし、分かるまで考え追究する生徒（個の追究姿勢）

※「3つの喜び」①自分の持ち味を生かして人の役に立つ喜び ②自分（たち）で考え決め、成功させる喜び ③仲間と協力してやり遂げる喜び

## 7 年度の努力事項

- 確かな学力の育成
  - 「受信・思考・発信」の聴き合い学び合う授業
  - 一人も一人にせずに、教科の本質に触れた質の高い学びの追究
    - 「かかわって学び合う授業」を高める校内研修
- 豊かな心を育む教育活動の推進
  - 年間35時間の「考え議論する道徳授業」の充実
  - 生徒が生徒に働きかける生徒会活動や自治活動の充実
  - 道徳を中心に「励ます個人内評価」の取組
- 健やかな心身の育成
  - PTA共通課題「家庭学習の習慣化」の取組
  - 三点固定（起床、家庭学習開始、就寝時間の固定）
  - 眠育や食育等の生活習慣の向上に向けた取組
- しばたの心継承プロジェクトの推進
  - 生き方授業を通したキャリア教育の充実
  - 農家学習、職業学習、上級学校訪問等の実施

## 8 研修・研究

- 研究主題
 

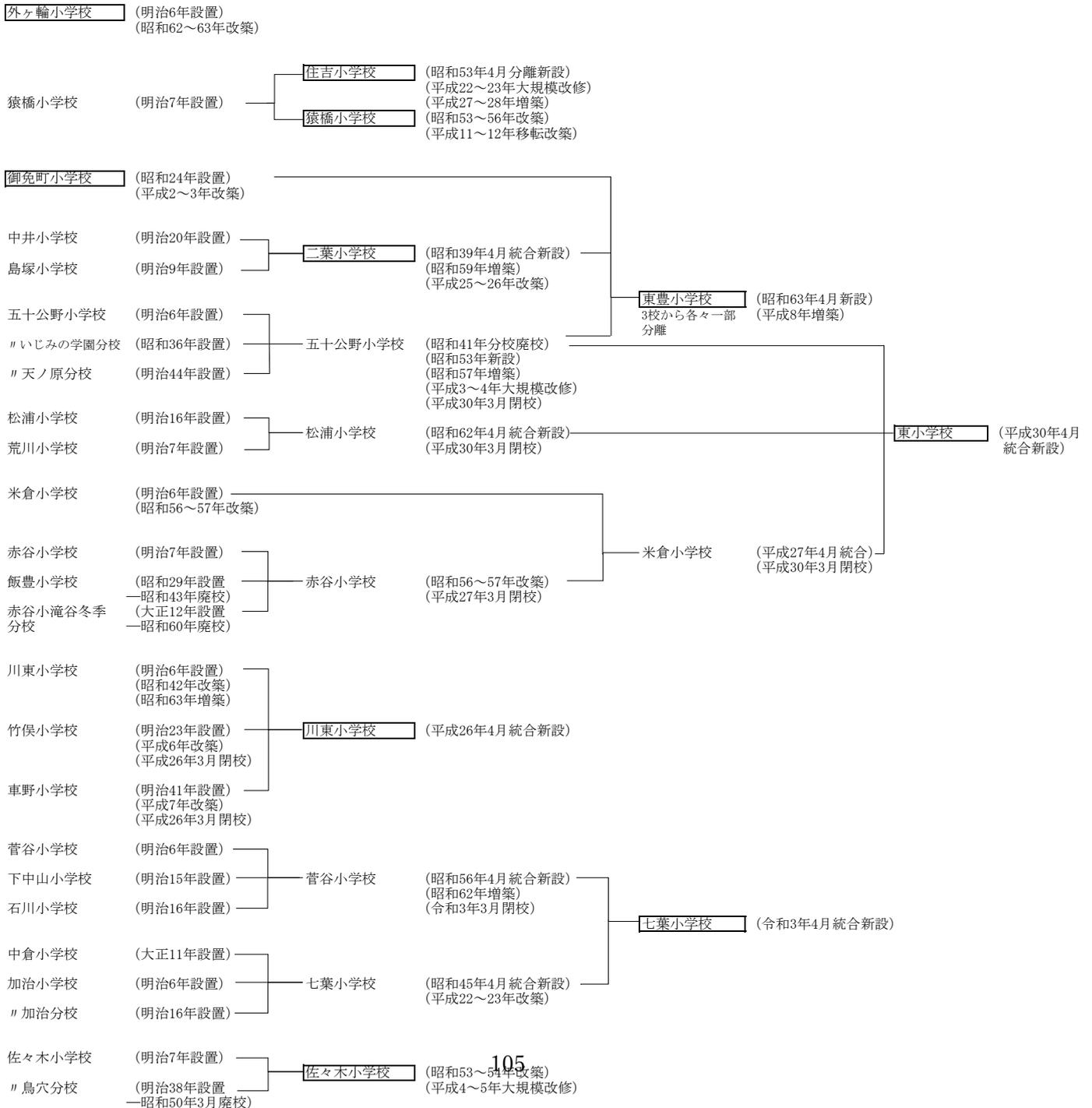
受信・思考・発信の聴き合い学び合う授業の創造  
 ～一人も独りにせず、教科の本質に触れた質の高い学びを求めて～
- 研究内容
  - 「受信・思考・発信」を柱とした加治川中「授業構造図」を意識した授業実践
  - 一人も独りにせず、120%支え合う「ケアの関係」の醸成
  - 「聴き合う関係」や「共有課題とジャンプ課題」を意識し、教科の本質に触れた質の高い学びの創造
  - 学び合う活動において「課題」や「まとめ」、「振り返り」を大切にされた子どもの学びの見取り

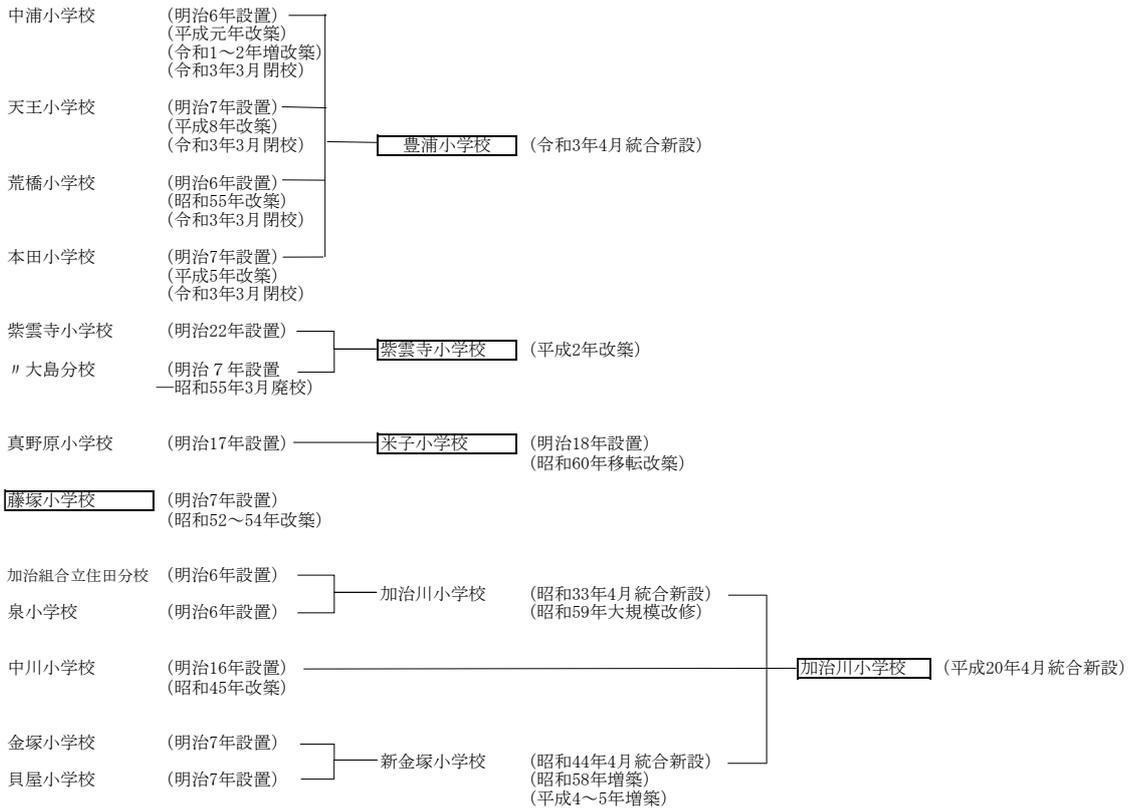
## 8 市立学校の統廃合、新設、分離の状況

### 【幼稚園】

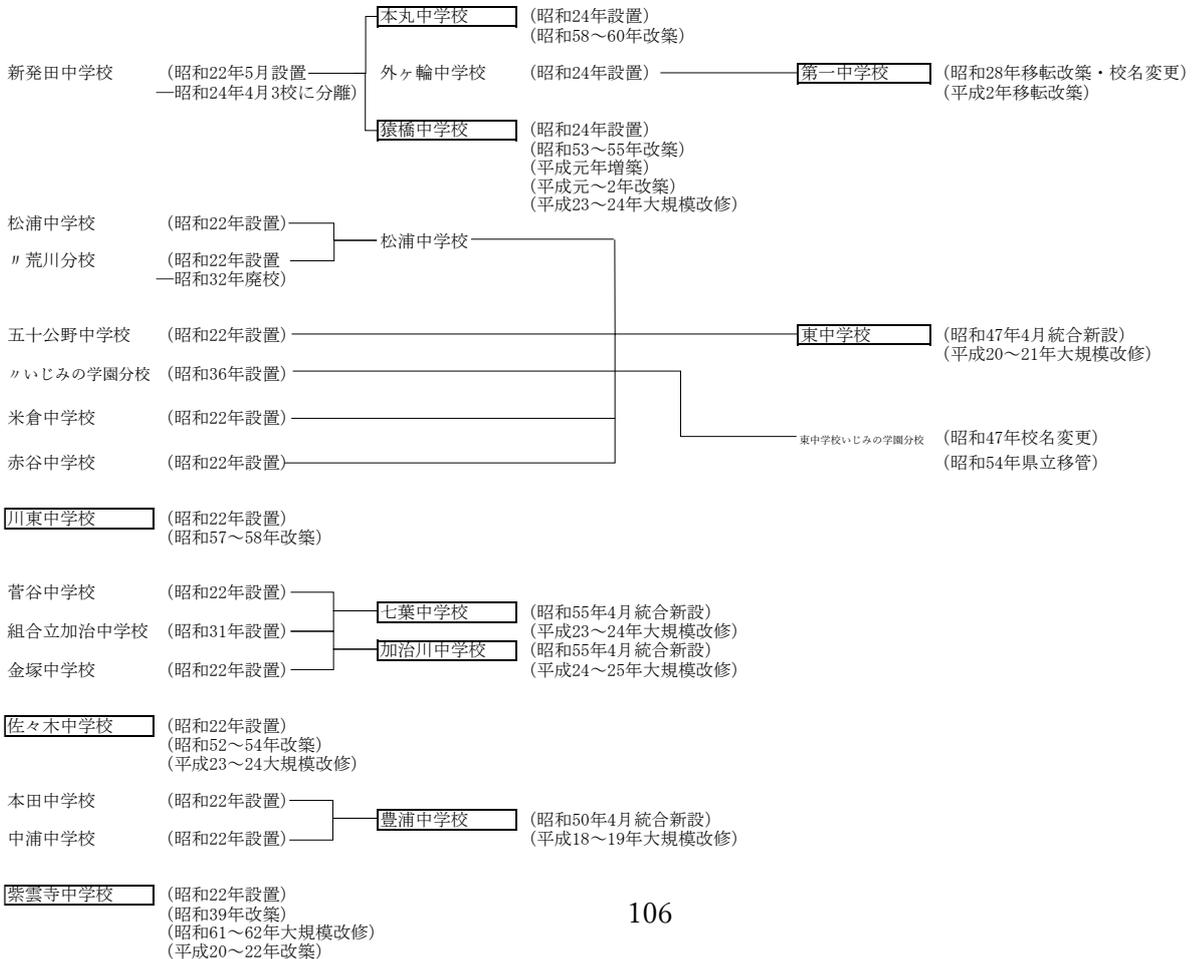
新発田幼稚園	大正8年設置 (昭和44～45年改築) (平成23年3月閉園)
西園幼稚園	(昭和40年設置) (平成17年移転改築) (令和2年3月閉園)
<b>御免町幼稚園</b>	(昭和42年設置) (平成11年移転改築)
加治川幼稚園	(昭和44年4月設置) (令和3年3月閉園)

### 【小学校】





【中学校】



## 9 市立教育施設の状況

(令和3年5月1日現在)

	校舎				屋内体育館				校地面積			プール施設	
	鉄筋 コンクリート	鉄骨 その他	木造	計(㎡)	鉄筋 コンクリート	鉄骨 その他	木造	計(㎡)	市有地	借地	計(㎡)	設置年度	規模(㎡)
(1)幼稚園													
御免町幼稚園		1,368		1,368					3,000		3,000		
加治川幼稚園	15	504	927	1,446					6,593		6,593		
合計	15	1,872	927	2,814	0	0	0	0	9,593	0	9,593		
(2)小学校													
外ヶ輪小学校	6,129		20	6,149	96	1,198		1,294	28,672		28,672	平成元年度	375
猿橋小学校	6,942	51		6,993	1	1,494		1,495	30,712		30,712	平成12年度	375
御免町小学校	5,575	119	30	5,724	58	1,506		1,564	26,551		26,551	平成3年度	375
二葉小学校	5,281		55	5,336	22	1,142		1,164	25,092		25,092	平成27年度	325
東小学校	5,784			5,784	59	723		782	18,115		18,115	平成30年度	325
川東小学校	3,487			3,487		964		964	16,945		16,945	平成26年度	325
七葉小学校	4,660	8		4,668	150	648		798	16,172		16,172	平成16年度	325
佐々木小学校	3,269	5	35	3,309		704		704	18,262		18,262	昭和44年度	325
住吉小学校	5,626	39		5,665	147	857		1,004	23,014		23,014	昭和52～53年度	325
東豊小学校	5,395		20	5,415	35	1,200		1,235	26,988		26,988	昭和63年度	325
豊浦小学校	3,634		19	3,653	21	825		846	22,467		22,467	平成9年度	335
紫雲寺小学校	4,532		33	4,565	112	1,124		1,236	24,260		24,260	昭和59年度	500
米子小学校	2,559	32	60	2,651	23	995		1,018	24,043		24,043	平成4年度	400
藤塚小学校	2,370			2,370		884		884	21,935		21,935	昭和54年度	400
加治川小学校	4,885		136	5,021	230	1,040		1,270	33,769		33,769	平成20年度	325
合計	70,128	254	408	70,790	954	15,304	0	16,258	356,997	0	356,997		5,360
(3)中学校													
本丸中学校	7,485		23	7,508		1,543		1,543	37,925		37,925		
第一中学校	5,489		45	5,534	68	1,323		1,391	35,245		35,245		
猿橋中学校	6,042		10	6,052	28	1,932		1,932	33,675		33,675		
東中学校	4,756	147		4,903		1,539	26	1,565	38,108		38,108		
川東中学校	2,926	41	20	2,987		1,191		1,191	22,032		22,032		
七葉中学校	3,464	14	28	3,506	11	1,244		1,255	31,762		31,762		
佐々木中学校	2,808		100	2,908		810	10	820	20,591		20,591		
豊浦中学校	4,904	98	72	5,074	41	2,016		2,057	33,096		33,096		
紫雲寺中学校	3,915		66	3,981	2,007			2,007	49,336		49,336		
加治川中学校	3,947	59	20	4,026		1,687		1,687	35,196		35,196		
合計	45,736	359	384	46,479	2,155	13,285	36	15,448	336,966	0	336,966		0
小・中学校合計	115,864	613	792	117,269	3,109	28,589	36	31,706	693,963	0	693,963		5,360

# 10 年度別義務教育施設等の整備状況

(単位：千円)

建築年度	小 学 校		中 学 校	
	事 業 名	事 業 費	事 業 名	事 業 費
平成27年度	住吉小学校校舎増築工事（Ⅰ期）	128,634	第一中学校グラウンド防球防砂ネット設置工事	13,792
	藤塚小学校校舎耐震補強改修工事	67,316	本丸中学校玄関アプローチ外灯設置工事	1,156
	川東小学校グラウンド整備工事	74,358	その他中学校施設の工事	16,283
	二葉小学校プール新築工事	135,616		
	菅谷小学校校舎耐震補強改修工事	70,060		
	五十公野小学校屋内体育館トイレ増築工事	27,475		
	五十公野小学校仮設校舎建設工事（Ⅱ期分）	28,609		
	五十公野小学校解体工事	155,747		
	その他小学校施設の工事	72,937		
	計	760,752	計	31,231
平成28年度	住吉小学校校舎増築工事（Ⅱ期）	300,147	本丸中学校体育館床塗装改修工事	4,860
	御免町小学校特別支援教室増築工事	57,024	その他中学校施設の工事	18,305
	五十公野小学校仮設校舎建設工事（Ⅲ期分）	15,563		
	東小学校校舎建設工事（Ⅰ期）	523,357		
	旧五十公野共同調理場解体工事	8,176		
	その他小学校施設の工事	34,123		
	計	938,390	計	23,165
平成29年度	五十公野小学校仮設校舎建設工事（Ⅳ期分）	16,205	加治川中学校給水管ライニング工事	12,809
	東小学校校舎建設工事（Ⅱ期）	1,225,400	加治川中学校バックネット改築工事	5,335
	東小学校外構、雨水排水工事	95,154	その他中学校施設の工事	12,188
	二葉小学校グラウンド改修工事（Ⅰ期）	46,516		
	住吉小体育館屋根雪対策工事	3,780		
	その他小学校施設の工事	28,148		
	計	1,415,203	計	30,332
平成30年度	東小学校建設事業（仮設校舎解体工事、プール及びグラウンド整備）	304,666	東中学校武道場改築事業	165,501
	住吉小学校グラウンド整備工事	198,012	その他中学校施設の工事	38,933
	二葉小学校グラウンド整備工事（Ⅱ期）	65,988		
	豊浦中学校区統合小学校整備事業	46,336		
	その他小学校施設の工事	32,683		
	計	647,685	計	204,434
令和元年度	東小学校建設事業（グラウンドⅡ期工事）	61,468	中学校エアコン整備事業	218,651
	小学校エアコン整備事業	366,513	その他中学校施設の工事	60,540
	その他小学校施設の工事	31,495		
	計	459,476	計	279,191
令和2年度	豊浦小学校増改築工事	400,207	コロナ感染症対策工事（網戸設置、蛇口レバーハンドル化）	15,957
	コロナ感染症対策工事（網戸設置、蛇口レバーハンドル化）	22,247	中学校エアコン整備工事	23,370
	小学校エアコン整備工事	33,430	中学校トイレ洋式化工事	22,220
	小学校トイレ洋式化工事	40,068	第一中学校防球ネット改修工事	3,421
	その他小学校施設の工事	108,902	その他中学校施設の工事	8,429
		計	517,854	計

11 園児・児童・生徒・学級数等一覧

(幼稚園)

(令和3.5.1現在)

区分 園名	3 歳 児			4 歳 児			5 歳 児			合 計						
	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数				
御免町幼稚園	3	4	7	1	9	4	13	1	6	13	19	1	18	21	39	3
加治川幼稚園	令和3年3月31日付け閉園															
合 計	3	4	7	1	9	4	13	1	6	13	19	1	18	21	39	3

## (小学校)

(令和3.5.1現在)

区分 学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		計				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
外ヶ輪小学校	3	2	3	2	4	2	2	3	2	3	2	3	3	18	8	26	4
猿橋小学校	6	1	10	1	11	5	5	5	8	1	9	5	1	45	14	59	11
御免町小学校	4	4	2	4	4	4	2	4	8	8	6	3	4	23	17	40	8
二葉小学校	1	2	3	2	4	1	4	2	5	5	6	2	2	19	7	26	4
東小学校	5	2	7	1	8	4	6	2	5	5	8	2	6	33	8	41	6
川東小学校	1	1			1	1			2	2	2	1	1	4	2	6	3
七葉小学校	6	6	2	1	3	4	6	1	5	2	7	2	2	25	5	30	5
佐々木小学校	2	2			1	1	1	1	1	2	3	1	1	5	3	8	2
住吉小学校	8	1	9	1	12	5	3	1	9	6	15	8	2	44	17	61	11
東豊小学校	1	1	2	4	4	2	6	4	10	4	10	3	2	16	8	24	4
豊浦小学校	2	2	4	1	8	3	4	3	4	4	5	1	1	12	4	16	3
紫雲寺小学校	1	1	4	1	5	2	3	3	3	1	3	1	1	12	1	13	2
米子小学校	6	4	10	5	10	5	6	4	10	8	11	1	5	35	27	62	6
藤塚小学校	1	1	1	1	2	2	1	1	2	2	2	1	2	7	7	14	2
加治川小学校	4	2	6	4	4	5	2	2	7	5	7	2	6	17	6	23	4
合 計	45	18	63	53	71	50	67	43	74	63	81	37	9	282	102	384	70
	343	367	710	346	373	719	30	382	377	759	29	330	383	2124	2282	4406	176

※ 2段書きの上段の数値は特別支援学級在籍生徒数であり、下段の数値は通常学級生徒・児童数である。

(令和3.5.1現在)

## (中学校)

学校名	1年			2年			3年			合計			
	男		女	男		女	男		女	男		女	
	人数	学級数	人数	学級数									
本丸中学校	4	8	3	11	5	5	7	5	12	19	12	31	5
	82	160	67	147	84	83	84	83	167	246	228	474	15
第一中学校	9	11	2	2	6	3	6	3	9	17	5	22	3
	44	102	61	123	56	51	56	51	107	162	170	332	11
猿橋中学校	9	12	6	8	11	2	11	2	13	26	7	33	7
	97	179	85	173	98	82	98	82	180	283	249	532	17
東中学校	3	4	1	2	3	3	3	3	6	7	5	12	2
	36	64	38	73	42	30	42	30	72	113	96	209	8
川東中学校				2	2	2	2	2	2	4	4	4	1
	22	43	12	24	10	15	10	15	25	44	48	92	4
七葉中学校				2	2	1	2	1	3	4	1	5	2
	22	39	16	28	18	23	18	23	41	52	56	108	5
佐々木中学校	4	19	8	17	1	1	1	1	2	1	1	2	1
	3	3	1	5	4	1	4	1	1	7	2	9	2
豊浦中学校	26	42	11	40	26	26	26	26	52	81	53	134	6
紫雲寺中学校	3	3	2	2	1	1	1	1	1	6	6	6	2
	31	56	27	62	26	32	26	32	58	92	84	176	6
加治川中学校	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	4	2
	14	35	22	42	21	22	21	22	43	55	65	120	6
合計	32	43	8	35	34	16	34	16	50	93	35	128	27
	378	739	347	729	394	368	394	368	762	1,154	1,076	2,230	81

※ 2段書きの上段の数値は特別支援学級在籍生徒数であり、下段の数値は通常学級生徒・児童数である。

(令和3.5.1現在)

(中学校)

区分 学校名	1年			2年			3年			合 計				
	学級数		学級数	学級数		学級数	学級数		学級数	学級数		学級数		
	男	女		男	女		男	女		男	女			
本丸中学校	4	4	8	5	8	3	11	5	7	12	19	12	31	5
	82	78	160	5	80	67	147	5	84	167	246	228	474	15
第一中学校	9	2	11	3	2	2	2	4	6	9	17	5	22	3
	44	58	102	3	62	61	123	4	56	107	162	170	332	11
猿橋中学校	9	3	12	6	6	2	8	5	11	13	26	7	33	7
	97	82	179	6	88	85	173	5	98	180	283	249	532	17
東中学校	3	1	4	2	1	1	2	3	3	6	7	5	12	2
	36	28	64	2	35	38	73	3	42	72	113	96	209	8
川東中学校	22	21	43	2	2	12	24	1	10	25	4	48	92	4
					2	2	2	1	2	2	4	1	4	1
七葉中学校	22	17	39	2	2	16	28	1	18	41	52	56	108	5
					12	12	28	1	1	2	1	1	2	1
佐々木中学校	4	15	19	1	9	8	17	1	13	17	26	27	53	3
					1	8	17	1	1	2	1	2	2	1
豊浦中学校	3	3	6	2	4	1	5	2	26	52	7	2	9	2
	26	16	42	2	29	11	40	2	26	52	81	53	134	6
紫雲寺中学校	3	3	6	2	2	2	2	2	1	1	6	6	6	2
	31	25	56	2	35	27	62	2	26	58	92	84	176	6
加治川中学校	1	1	2	2	1	1	1	2	1	1	2	2	4	2
	14	21	35	2	20	22	42	2	21	43	55	65	120	6
合 計	32	11	43	27	27	8	35	26	34	50	93	35	128	27
	378	361	739	382	382	347	729	26	394	762	1,154	1,076	2,230	81

※ 2段書きの上段の数値は特別支援学級在籍生徒数であり、下段の数値は通常学級生徒・児童数である。

### 1 4 いじめ・不登校の推移

いじめの発生件数（認知件数）の推移

年度	新発田市小学校	1校あたりの件数	新潟県小学校	1校あたりの件数	新発田市中学校	1校あたりの件数	新潟県中学校	1校あたりの件数
平成22年度	22件	0.91件	454件	0.8件	27件	2.7件	601件	2.5件
平成23年度	18件	0.75件	330件	0.6件	27件	2.7件	458件	1.9件
平成24年度	64件	2.66件	719件	1.4件	33件	3.3件	698件	2.9件
平成25年度	40件	1.66件	576件	1.1件	57件	5.7件	713件	3.1件
平成26年度	41件	1.86件	721件	1.5件	60件	6.0件	656件	2.8件
平成27年度	54件	2.57件	1,685件	3.5件	68件	6.8件	1,138件	4.8件
平成28年度	33件	1.57件	7,897件	16.8件	39件	3.9件	1,746件	7.9件
平成29年度	47件	2.24件	14,882件	32.4件	27件	2.7件	2,339件	10.3件
平成30年度	88件	4.63件	15,399件	33.1件	44件	4.4件	2,343件	9.9件
令和元年度	304件	16.00件	16,859件	37.7件	110件	11.0件	2,688件	12.1件
令和2年度	392件	20.63件			98件	9.8件		

\*1校あたりの件数＝発生件数（認知件数）÷学校数

\*平成18年度から文部科学省の「いじめの定義」が変わり、「発生件数」から「認知件数」に変更になった。そのため、本人の訴えがあったものすべて件数に含めている。

\*平成24年度は文部科学省のいじめの緊急調査があり、いじめについて積極的に認知しているというところから大幅増になっている。

\*平成26年度は文部科学省のいじめの再調査があり、件数は再調査後の修正した数値である。

\*平成7年度は文部科学省がいじめによる自殺等を受け、「いじめ防止対策推進法」制定の趣旨を踏まえ、より厳しく認知することとしたため増加している。

\*令和2年度の県は未発表

不登校児童生徒数の推移

年度	新発田市小学校	発生率	新潟県小学校	発生率	新発田市中学校	発生率	新潟県中学校	発生率
平成22年度	19名	0.35%	446名	0.36%	74名	2.70%	1,713名	2.60%
平成23年度	15名	0.29%	410名	0.33%	62名	2.22%	1,719名	2.61%
平成24年度	11名	0.21%	343名	0.29%	48名	1.74%	1,639名	2.54%
平成25年度	7名	0.14%	403名	0.34%	65名	2.35%	1,676名	2.64%
平成26年度	13名	0.26%	435名	0.38%	65名	2.43%	1,673名	2.68%
平成27年度	11名	0.22%	456名	0.40%	68名	2.59%	1,614名	2.67%
平成28年度	18名	0.35%	473名	0.43%	78名	3.15%	1,696名	2.88%
平成29年度	15名	0.31%	560名	0.51%	74名	3.12%	1,759名	3.04%
平成30年度	22名	0.45%	701名	0.64%	81名	3.48%	1,935名	3.38%
令和元年度	23名	0.47%	777名	0.72%	82名	3.48%	2,003名	3.55%
令和2年度	39名	0.81%			80名	3.41%		

\*発生率（次席30日以上）＝不登校児童生徒数÷在籍児童生徒数×100

\*平成19年度以降の県の数値は、中等教育学校前期課程を含む。

\*令和2年度の県の件数は未発表

## 1 5 社会教育関係施設一覧

施設名	所在地	電話
住吉教育集会所	住吉町2-3-30	26-5984
紫雲寺漁村民俗資料館	藤塚浜3585-110	22-9534 <small>(文化行政課文化行政係)</small>
加治川展示室	下小中山1107	26-2163 <small>(文化行政課埋蔵文化財係)</small>
市立中央図書館	諏訪町1-2-12 (新発田駅前複合施設イクネスしばた内)	22-2418
市立歴史図書館	中央町4-11-27	24-2100
新発田地区公民館 (生涯学習センター)	中央町5-8-47	22-8516
五十公野分館 (五十公野コミュニティセンター)	五十公野4930-1	26-8139
松浦分館 (松浦農村環境改善センター)	法正橋676	26-3392
米倉分館 (米倉農村環境改善センター)	米倉1419	28-5204
赤谷分館	上赤谷2689	28-2341
川東分館 (川東コミュニティセンター)	下羽津1908	25-2025
菅谷分館 (菅谷コミュニティセンター)	菅谷3350	29-2002
加治分館 (七葉コミュニティセンター)	三日市862	24-0778
佐々木分館 (佐々木コミュニティセンター)	則清956-1	27-6627
青少年宿泊施設 (あかたにの家)	上赤谷2173	28-2116
豊浦地区公民館	乙次26-2	22-2081
紫雲寺地区公民館	稻荷岡2371	41-2291
大島分館	大中島37	41-2974
西部分館	真野原外1536-3	41-2336
加治川地区公民館	住田547-1	33-2433
中川分館	押廻1447	22-0657
生涯学習センター (新発田地区公民館)	中央町5-8-47	26-7191
市民文化会館	中央町4-11-7	26-1576
青少年健全育成センター 児童センター	緑町2-6-36	26-0897
紫雲寺児童館	稻荷岡2371	41-3114
加治川児童館	川口128-1	39-6016

16 指定文化財一覧

令和3年6月1日現在

区分	番号	種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者(管理者)	備考
国 うち重要文化財	1	建	新発田城表門・旧二の丸隅櫓 附 表門板札、隅櫓棟札	2棟	昭和32年6月18日	大手町6	文部科学省 (新発田市)	表門享保17年(1732) 隅櫓寛文8年(1668)
	2	建	旧新発田藩足軽長屋	1棟	昭和44年12月18日	諏訪町3	(一財)北方文化博物館	天保13年 (1842)
	3	考	新潟県村尻遺跡出土品	土偶形容器 1点 土器14点 骨垂飾2点 附石片1点	平成25年6月19日	新潟県立歴史 博物館 (長岡市関原町1)	新発田市 (新潟県立歴史博物館)	弥生前期～中期
	4	史	奥山荘城館遺跡 金山城跡	4遺跡	平成6年3月30日	金山	個人、国、新潟県、 新発田市	鎌倉期～室町期
	5	名	旧新発田藩下屋敷(清水谷御殿) 庭園および五十公野御茶屋庭園		平成15年8月27日	大栄町7 五十公野	(一財)北方文化博物館、 新発田市・豊田神社	下屋敷寛文6年(1666) 庭園文化11年(1814)
	6	天	椽平サクラ樹林	1,000本以上	昭和9年1月22日	貝屋	国(農林水産省)	
	7	天	ヤマネ		昭和50年6月26日			
	8	天	ヒシクイ		昭和46年6月28日			
	9	天	マガン		昭和46年6月28日			
	10	特天	カモシカ		昭和30年2月15日	飯豊山地		
県	1	建	市島家住宅	12棟1構	昭和37年3月29日	天王	新発田市	江戸末期～明治期
	2	彫	木造薬師如来立像	1軀	昭和33年3月5日	西名柄	龍蔵寺	鎌倉前期
	3	彫	木造地藏菩薩立像 附 地藏尊縁起1巻	1軀	平成28年3月25日	諏訪町2	宝光寺	鎌倉期
	4	古	市島家文書	16,528点	昭和47年3月28日	新潟県立文書館 (新潟市中央区玄池南)	新発田市	近世
	5	古	正保越後国絵図(元禄年間写) 附 古絵図3鋪	1鋪	平成8年3月29日	中央町4	市立歴史図書館	江戸中期
	6	古	新発田藩資料	5,848点	令和3年3月26日	中央町4	新発田市	江戸期
	7	考	大沢経塚出土品	一括	昭和56年3月27日	小舟町2	大沢区ほか5区 (市教育委員会)	平安後期
	8	考	鉦鼓	1口	昭和57年3月26日	福島	個人	鎌倉後期 (正和元年)
	9	考	山草荷遺跡出土品	45点	令和3年3月26日	小舟町2	新発田市	弥生中期
	10	歴	旧新発田町上水道敷設関係資料	一括48点	平成15年3月28日	下内竹	新発田市	近現代(明治末期 ～昭和中期)
	11	風慣	シヨウキ祭り(浦の正貴祭り)		平成17年3月25日	浦	力行講社講中	明治後期
	12	天	貝屋のお葉附イチョウ樹	2本	昭和31年3月23日	貝屋	個人	
市	1	建	宝光寺山門 附 棟札、山門絵図	1棟	昭和50年8月1日	諏訪町2	宝光寺	弘化2年□(1845)
	2	建	旧新発田藩石黒家住宅	1棟	平成11年8月4日	大栄町7	(一財)北方文化博物館	江戸後期
	3	建	紫雲閣(旧白勢家観音堂)	1棟	平成23年12月7日	中央町1	個人	明治35年(1902)
	4	建	宝光寺経蔵	1棟	平成27年4月3日	諏訪町2	宝光寺	江戸期
	5	建	菅谷寺本堂及び山門 附 本堂棟札、山門棟札、山門版 木	本堂1棟 山門1棟 本堂棟札2枚 山門棟札2枚 山門版木1枚	平成27年4月3日	菅谷	菅谷寺	江戸期
	6	建	間藤家住宅 主屋及び土蔵並びに門小 屋 附 主屋棟札及び土蔵棟札	主屋1棟 土蔵1棟 門小屋1棟 主屋棟札1枚 土蔵棟札1枚	平成28年4月5日	古田	個人	江戸末期、明治期
	7	絵	新発田藩歴代藩主肖像画	13幅	昭和49年3月15日	諏訪町2、 中央町2	宝光寺、 託明寺	江戸期
	8	絵	陣立図屏風	1双	昭和52年4月9日	中央町4	市立歴史図書館	江戸期

区分	番号	種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者(管理者)	備考	
市	9	彫	木造阿弥陀如来立像	1軀	昭和52年4月9日	諏訪町2	宝光寺	鎌倉期	
	10	彫	木造十一面観音坐像	1軀	昭和57年7月8日	下中	若宮八幡宮	鎌倉期	
	11	工	銅製孔雀文磬	1面	平成6年1月5日	岡田	法音寺	鎌倉期	
	12	工	諏訪神社神輿	2基	平成29年5月2日	諏訪町2	諏訪神社	江戸期・明治期	
	13	古	聿修碑	1基	昭和49年11月13日	上赤谷	上赤谷区	宝永7年(1710)	
	14	古	竹前家文書	21点	平成17年5月1日	米子	個人	江戸中期	
	15	古	神田家文書	11点	平成17年5月1日	大中島	個人	江戸中期～後期	
	16	古	宮川家文書	13点	平成17年5月1日	中央町4	個人	江戸中期～後期	
	17	古	伊藤家文書	11点	平成17年5月1日	住田	個人	江戸期	
	18	考	板山中野遺跡出土品	5個	昭和49年3月15日	下小中山、住吉町1	市教育委員会	縄文後期	
	19	考	蔵光十二林遺跡出土品	3個	昭和55年3月27日	蔵光	個人	縄文後期	
	20	考	法音寺大日堂五輪塔	1基	昭和63年2月24日	岡田	法音寺	鎌倉末期	
	21	考	蚤取橋遺跡出土古墳時代木製品	7点	平成22年12月2日	下小中山	市教育委員会	古墳後期	
	22	考	宝積寺館跡出土墨書板碑	1点	平成22年12月2日	住吉町1	市教育委員会	室町期～戦国期(16世紀中頃)	
	23	歴	菅谷寺算額	1面	昭和50年3月31日	菅谷	菅谷寺	享和元年(1801)	
	24	歴	白勢檢校遺品	5点	昭和51年3月23日	諏訪町3	個人	江戸後期	
	25	歴	新発田藩学資料	3, 250点	昭和51年3月23日	中央町4	市立歴史図書館	江戸期	
				6点	追加昭和52年4月9日	中央町4	市立歴史図書館		
				2点	追加昭和52年4月9日	中央町4	豊田神社		
	26	歴	丹羽伯弘資料	214点	昭和52年4月9日	中央町4	市立歴史図書館	江戸後期	
	27	歴	藤戸神社算額	1面	昭和54年2月7日	大栄町7	藤戸神社 (一財) 北方文化博物館	明治33年(1900)	
	28	歴	上館八幡宮算額	1面	昭和55年3月27日	上館	八幡宮	文政12年(1829)	
	29	歴	丸田正通和算資料	115点	昭和56年3月25日	中央町4	市立歴史図書館	江戸後期	
	30	歴	新発田藩版の版木	1, 192枚	平成21年3月4日	諏訪町2、中央町4	宝光寺、市立歴史図書館	江戸期	
	31	歴	奉先堂扁額	1面	平成22年12月2日	中央町4	豊田神社	江戸期	
	32	歴	新発田藩主溝口家花押印、印章及び丹羽長重印章	30顆	平成22年12月2日	中央町4、五十公野	豊田神社	江戸期	
	33	歴	赤徳四十七士木像及び長徳寺義士堂附「義士堂」扁額、天井書画、堀部安兵衛銅像、「萬山不重」額	47軀 1棟	平成26年1月8日	大栄町2	武庸会、長徳寺	赤徳四十七士木像 明治以前 長徳寺義士堂 昭和4年	
	34	歴	五十公野館跡出土 観音立像	1体	平成31年3月5日	小舟町2	新発田市	中世	
	市	35	有民	しばた台輪 附 額面纏、纏、幣束	台輪6基 額面纏など10点 纏1点	昭和47年6月1日 追加平成3年4月3日 追加平成22年3月3日	諏訪町1、御幸町1、大栄町2、大栄町7、諏訪町1	上町町内会、下町町内会、四之町町内会、三之町町内会、両町町内会、泉組台輪保存会	江戸期
		36	有民	職人町額面纏	1点	平成3年4月3日	御幸町1	職人町町内会	江戸期

区分	番号	種別	名 称	員 数	指定年月日	所 在 地	所有者(管理者)	備 考
	37	無民	職人町獅子舞		平成12年8月17日	御幸町1	職人町獅子保存会	享保17年□(1732)
	38	無民	稲荷岡神楽		平成17年5月1日	稲荷岡地区	稲荷岡神楽保存会	
	39	無民	五ヶ字神楽		平成17年5月1日	五ヶ字地区	五ヶ字神楽連	
	40	無民	下小中山獅子舞		平成17年5月1日	下小中山	下小中山獅子組	
	41	史	旧会津街道一里塚	1基	昭和48年1月19日	上赤谷	市教育委員会	江戸期
	42	史	新発田城跡	1構	平成14年1月7日	大手町6	財務省、 新発田市	江戸期
	43	史	新発田藩主溝口家墓所		平成21年3月4日	諏訪町2	個人 (宝光寺)	江戸期
	44	史	加治城跡	1構	平成28年4月5日	黒岩・東宮内	新発田市他9名	中世
	45	史	溝口勝政墓	1基	平成22年12月2日	中央町2	個人 (託明寺)	安土桃山期
	46	天	滝沢のミズバショウ群落		平成15年7月7日	滝沢	滝沢地区	
	47	天	旧会津街道松並木	アカマツ13本	平成26年1月8日	大槻	市教育委員会	江戸期

(種別)

【特天】特別天然記念物・【建】建造物・【絵】絵画・【彫】彫刻・【工】工芸品・【古】古文書・【考】考古資料・【歴】歴史資料  
【有民】有形民俗文化財・【無民】無形民俗文化財・【風慣】風俗慣習・【史】史跡・【名】名勝・【天】天然記念物

## 1.7 国登録文化財一覧

種別	番号	名 称	登録年月日	所 在 地	所有者(管理者)	備 考
有	1	石崎家住宅(石泉荘)離れ座敷	平成19年10月2日	諏訪町3	個人	明治38年
有	2	石崎家住宅(石泉荘)茶室	平成19年10月2日	諏訪町3	個人	明治28年
名	3	旧石崎氏庭園(石泉荘庭園)	平成23年9月21日	諏訪町3	個人	明治期
有	4	吉原写真館	平成29年10月27日	大手町2	個人	昭和11年 昭和47年増築
有	5	平久呉服店店舗兼主屋	平成29年10月27日	御幸町1	個人	昭和10年頃 昭和57年改修
有	6	長徳寺本堂	平成29年10月27日	大栄町2	長徳寺	嘉永3年(1850) 昭和59年改修
有	7	長徳寺庫裏	平成29年10月27日	大栄町2	長徳寺	明治中期
有	8	長徳寺行在所	平成29年10月27日	大栄町2	長徳寺	大正10年移築
有	9	長徳寺鐘楼	平成29年10月27日	大栄町2	長徳寺	昭和前期
有	10	長徳寺山門及び塀	平成29年10月27日	大栄町2	長徳寺	天保12年(1841)
有	11	三光寺本堂	平成29年10月27日	諏訪町2	三光寺	大正5年 平成11年改修
有	12	顕法寺本堂	平成29年10月27日	大栄町2	顕法寺	明治43年 平成15年改修
有	13	すきやき八木店舗	平成30年11月2日	中央町3	個人	昭和10年頃/昭和15年増築 昭和49年・平成15年改修
有	14	肥田野家住宅主屋	平成30年11月2日	米倉	個人	大正10年/昭和前期・ 平成2年・同18年改修
有	15	旧村山家別邸(苔香荘苔松庵)	令和元年12月5日	中央町1	個人	明治前期 昭和42年改修
有	16	旧武者家別邸(苔香荘武者亭)	令和元年12月5日	中央町1	個人	明治中期/大正14年増築 平成21年移築
有	17	長願寺本堂	令和元年12月5日	下興野	長願寺	寛永3年 昭和42年改修
有	18	長谷川家住宅双子蔵	令和3年2月26日	大栄町7	個人	明治中期

(種別)

【有】登録有形文化財(建造物)・【名】登録記念物(名勝地)

## 1 8 社会教育施設利用状況

### (1) 青少年宿泊施設「あかたにの家」

年度	利用団体数			利用者数		
		市内	市外		宿泊	日帰り
H29	109 件	103 件	6 件	3,127人	1,115人	2,012人
H30	95 件	90 件	5 件	2,813人	1,153人	1,660人
R1	93 件	85 件	8 件	3,219人	1,630人	1,589人
R2	29 件	27 件	2 件	700人	93人	607人

### (2) 学校開放（特別教室）

(単位：人)

学 校 名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	利用団体数	利用人数	利用団体数	利用人数	利用団体数	利用人数	利用団体数	利用人数	利用団体数	利用人数
外ヶ輪小学校	115	2,254	93	1,744	96	1,924	91	2,189	76	1,294
猿橋小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	2	110
御免町小学校	104	1,429	112	1,744	104	2,004	82	1,305	0	0
紫雲寺中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	219	3,683	205	3,488	200	3,928	173	3,494	78	1,404

## 1 9 文化財公開状況

### (1) 新発田城（国指定重要文化財建造物・市指定史跡）

(単位：人)

年度	日数	市 内	市 外	計	備 考
H27	257	8,915	43,814	52,729	4/1～11/30、3/19～31毎日公開
H28	258	8,123	46,324	54,447	4/1～11/30、3/18～31毎日公開
H29	259	6,030	45,271	51,301	4/1～11/30、3/17～31毎日公開
H30	259	6,000	41,992	47,992	4/1～11/30、3/17～31毎日公開
R1	255	6,130	47,649	53,779	4/1～11/30、3/21～31毎日公開
R2	229	4,808	27,329	32,137	4/1～4/17、5/11～11/30、3/24～31毎日公開

### (2) 五十公野御茶屋庭園（国指定名勝）

(単位：人)

年度	日 数	市 内	市 外	計	備 考
H27	88	1,379	1,284	2,663	8/20から11/30まで月曜日を除く毎日公開
H28	210	1,915	1,311	3,226	4/1から11/30まで月曜日を除く毎日公開 茶会等利用団体3件
H29	212	1,921	1,293	3,214	4/1から11/30まで月曜日を除く毎日公開 茶会等利用団体4件
H30	212	1,283	1,092	2,375	4/1から11/30まで月曜日を除く毎日公開 茶会等利用団体3件
R1	213	1,395	1,556	2,951	4/1から11/30まで月曜日を除く毎日公開 茶会等利用団体2件
R2	188	1,025	1,064	2,089	4/1から4/17まで、5/12から11/30まで月曜日を 除く毎日公開

## 20 令和2年度図書館運営実績

### 1 蔵書数

#### (1) 図書館資料（中央図書館・分館・分室・配本所）

分類	項目		受入数		除籍数	蔵書数	構成比
			受入	(うち寄贈)			
図書受入・ 除籍及び 蔵書数	0	総記	588	269	18	18,301	6.21%
	1	哲学	284	27	10	8,503	2.89%
	2	歴史	691	69	174	24,451	8.30%
	3	社会科学	1,125	126	107	31,627	10.74%
	4	自然科学	900	49	31	20,396	6.93%
	5	技術	868	40	67	19,292	6.55%
	6	産業	284	23	17	8,361	2.84%
	7	芸術	1,898	181	99	52,585	17.86%
	8	言語	153	4	4	3,991	1.36%
	9	文学	3,255	507	161	106,943	36.32%
		計	10,046	1,295	688	294,450	100%

#### (2) 視聴覚資料（中央図書館・分館）

##### ① CDほか

分類	項目		受入数		除籍数	保有数
			受入数	(うち寄贈)		
	レコード		0	0	0	0
	C D		755	692	4	5,316
	L D		0	0	0	0
	D V D		72	15	0	939
	ビデオ		0	0	8	819
	カセット		0	0	0	631
	計		827	707	12	7,705

② マイクロフィルム

項目 \ 分類	受入数	保有巻数	内訳
新潟日報	24	1,029	自 S 53. 4. 1 ~ 至 R 3. 3. 31
新発田新聞		72	自 S 9. 2. 1 ~ 至 S 15. 9. 25
新下越		1	自 S 29. 3. 19 ~ 至 S 29. 12. 10
週間タイムス		1	自 S 25. 12. 6 ~ 至 S 27. 10. 29
北新時報		1	自 S 27. 11. 10 ~ 至 S 27. 12. 18
計	24	1,104	

(3) 逐次刊行物及びその他資料

項目		購入	寄贈	計
新聞	日刊誌	8	3	11
	週刊誌	2	3	5
	不定期	0	3	3
雑誌		187	17	204
加除		11	0	11

(4) 商用データベース

項目	利用可能端末数
官報情報検索サービス	1
日経テレコン 2 1	1
新潟日報記事データベースサービス	1

2 中央図書館利用状況 (開館日数280日)

(1) 利用人員数

	一般	中・高生	児童	計	一日平均
個人	73,126	2,386	12,239	87,751	313.4
団体	—	—	—	762	2.7

## (2) 図書貸出冊数

	一般図書	児童図書	雑誌	計	一日平均
個人	143,983	98,305	18,798	261,086	932.5
団体	658	3,851	90	4,599	16.4

## (3) 視聴覚資料貸出数

	LP	CD	DVD	ビデオ	カセット	計	一日平均
点数	4	8,852	6,019	122	6	15,003	53.6

## (4) 新規登録人員数

	一般	中・高生	児童	計	一日平均
個人	836	62	218	1,116	4.0
団体	—	—	—	4	0.0
年度末登録者数(個人)	24,384	2,901	3,070	30,355	—
年度末登録者数(団体)	—	—	—	166	—

## (5) 資料予約数

	一般図書	児童図書	雑誌	視聴覚資料	計	一日平均
個人	8,505	1,430	601	309	10,845	38.7
団体	29	76	2	—	107	0.4

## 3 分館等利用状況

	松浦分室		五十公野分室		川東分室		佐々木分室		豊浦分館		紫雲寺分館		加治川分館		計	
	利用者	貸出冊数	利用者	貸出冊数	利用者	貸出冊数	利用者	貸出冊数	利用者	貸出冊数	利用者	貸出冊数	利用者	貸出冊数	利用者	貸出冊数
児童	163	163	92	203	3	4	70	116	65	264	99	367	239	1,158	731	2,275
一般	45	95	524	1,466	123	397	25	41	748	2,009	576	1,514	1,314	4,681	3,355	10,203
									(4)	(92)	(1)	(4)	(9)	(77)	(14)	(173)
合計	208	258	616	1,669	126	401	95	157	813	2,273	675	1,881	1,553	5,839	4,086	12,478
									(4)	(92)	(1)	(4)	(9)	(77)	(14)	(173)

( )は内数、団体利用の数

## 2 1 令和2年度歴史図書館運営実績

### 1 蔵書数

#### (1) 図書館資料

分類	項目		受入数		除籍数	蔵書数	構成比
			受入	(うち寄贈)			
図書受入・ 除籍及び 蔵書数	0	総記	91	29	0	4,075	13.61%
	1	哲学	13	0	0	1,354	4.52%
	2	歴史	417	22	0	13,088	43.70%
	3	社会科学	43	12	0	1,915	6.39%
	4	自然科学	7	0	0	450	1.50%
	5	技術	7	0	0	323	1.08%
	6	産業	5	0	0	358	1.20%
	7	芸術	42	2	0	2,494	8.33%
	8	言語	1	1	0	547	1.83%
	9	文学	59	14	0	5,343	17.84%
		計	685	80	0	29,947	100%

#### (2) 視聴覚資料

分類	項目		受入数		除籍数	保有数
			受入数	(うち寄贈)		
C D			0	0	0	104
レーザーディスク			0	0	0	425
レコード			0	0	0	3,138
DVD			0	0	0	26
その他			0	0	0	40

#### (3) 逐次刊行物及びその他資料

項目	購入	寄贈	計
新聞	0	0	0
雑誌	15	1	16

#### (4) データベース

項目	利用可能端末数
インターネット	4
古文書検索	1
にいがたMALUI連携・地域データベース	1
国立国会図書館デジタルコレクション	1
新潟日報記事データベース	1

(5) デジタルアーカイブ

項目	計
郷土資料目録 11分類（郷土第1、第2、溝口伊織家文書他）	8,064件
ガイダンス映像（短編「蒲原平野の開拓」「新発田城とその城下町」他）	5本
「人物アーカイブ」（堀部安兵衛、大倉喜八郎、坪川洵平、露谷虹児他）	61人
「漢籍データベース 四部分類」（経部、史部、子部、集部）	1,234件

2 歴史図書館利用状況（開館日数183日）

(1) 入館人数

	一般	中・高生	児童	計	一日平均
個人	11,155	3	3	11,161	61.0

(2) 図書貸出冊数（雑誌含む）

	一般図書	一日平均
個人	1,396	7.6

(3) レファレンス件数

	一般図書	一日平均
個人	131	0.7

(4) 視聴覚資料貸出数

	レコード他	一日平均
点数	63	0.3

(5) 古文書等閲覧件数

	古文書等閲覧件数	延べ人数
個人	236	57

(6) 新規登録人員数

	一般	中・高生	児童	計
個人	14	0	0	14

## 2.2 公民館施設等利用状況

1 公民館等利用状況 ※令和2年度に「中央公民館」を「市民文化会館」に施設統合 (単位：回、人)

施設	H28		H29		H30		R 1		R 2	
	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人
旧中央公民館	※H28～R1の利用状況については「24 令和2年度市民文化会館事業実績」を参照								—	—
豊浦地区公民館	2,312	50,451	2,180	45,643	2,402	47,562	2,007	44,921	2,128	42,966
紫雲寺地区公民館	880	9,222	854	8,986	921	11,655	999	10,261	837	8,182
加治川地区公民館	785	10,669	761	7,887	609	8,578	519	7,622	587	5,010
生涯学習センター (新発田地区公民館)	2,102	93,272	1,953	84,660	2,060	95,089	2,285	79,864	1,939	36,519

2 分館利用状況 (単位：回、人)

施設	H28		H29		H30		R 1		R 2	
	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人
新発田地区公民館 分館合計	5,583	78,509	6,222	77,441	6,185	77,612	6,221	74,821	4,837	45,850
五十公野分館	1,988	17,167	2,115	17,112	2,229	17,971	2,277	16,349	1,832	12,072
松浦分館	310	6,433	329	7,351	245	6,249	315	6,123	156	2,576
函倉分館	147	3,604	148	2,708	152	2,658	147	2,905	109	1,904
壱谷分館	340	2,739	348	2,982	246	2,488	190	2,036	149	1,229
菅谷分館	1,054	16,947	1,015	14,382	960	14,638	927	14,811	786	8,566
加治分館	829	15,676	1,003	14,314	1,084	14,097	1,159	15,876	921	10,590
佐々木分館口	598	12,262	570	11,581	559	11,320	508	8,080	342	3,550
川東分館	317	3,681	694	7,011	710	8,191	698	8,641	542	5,363
紫雲寺地区公民館 分館合計	174	1,756	164	1,744	124	1,364	106	1,337	135	1,124
紫雲寺地区公民館 西部分館	48	375	47	494	22	331	18	491	13	123
紫雲寺地区公民館 大島分館	126	1,381	117	1,250	102	1,033	88	846	122	1,001
加治川地区公民館 分館合計	992	10,350	989	9,315	820	8,571	696	7,128	438	4,113
加治川地区公民館 中川分館	537	6,694	494	6,875	388	5,505	341	4,637	193	2,363
加治川地区公民館 金塚分館	455	3,656	495	2,440	432	3,066	355	2,491	245	1,750
全館計	10,726	160,957	11,170	151,016	11,061	155,342	12,833	225,954	10,901	143,764

## 2 3 地区公民館受託管理施設利用状況（体育施設）

### 豊浦地区公民館受託施設

（単位：人）

#### ■真木山中央公園野球場

月	R 2年度	R 1年度	前年比
4	87	1,625	5%
5	126	1,112	11%
6	618	1,940	32%
7	1,811	2,795	65%
8	1,498	1,948	77%
9	1,049	1,213	86%
10	467	746	63%
11	615	794	77%
12	0	0	-
1	0	0	-
2	0	0	-
3	0	0	-
計	6,271	12,173	52%

#### ■真木山中央公園ゲートボール場

月	R 2年度	R 1年度	前年比
4	0	0	-
5	0	1	-
6	0	1	-
7	1	0	-
8	22	78	28%
9	13	20	-
10	0	0	-
11	0	0	-
12	0	0	-
1	0	0	-
2	0	0	-
3	0	0	-
計	36	100	36%

#### ■真木山中央公園多目的練習場

月	R 2年度	R 1年度	前年比
4	266	709	38%
5	345	629	55%
6	550	642	86%
7	722	723	100%
8	591	586	101%
9	740	727	102%
10	760	719	106%
11	853	826	103%
12	998	986	101%
1	796	963	83%
2	967	990	98%
3	1,086	0	-
計	8,674	8,500	102%

#### ■豊浦総合運動施設多目的グラウンド

月	R 2年度	R 1年度	前年比
4	0	0	-
5	0	0	-
6	607	2,339	26%
7	1,667	3,734	45%
8	2,180	781	279%
9	654	1,893	35%
10	751	1,630	46%
11	70	100	70%
12	0	0	-
1	0	0	-
2	0	0	-
3	0	0	-
計	5,929	10,477	57%

#### ■豊浦体育センター

月	R 2年度	R 1年度	前年比
4	377	887	43%
5	381	650	59%
6	549	756	-
7	645	1,044	62%
8	579	998	58%
9	592	942	63%
10	874	1,131	77%
11	885	731	121%
12	1,125	1,085	104%
1	1,027	1,013	101%
2	926	834	111%
3	1,265	0	-
計	9,225	10,071	92%

#### ■豊浦総合運動施設テニスコート

月	R 2年度	R 1年度	前年比
4	263	1,809	15%
5	329	2,058	16%
6	634	1,534	41%
7	864	1,819	47%
8	833	1,477	56%
9	626	1,056	59%
10	879	2,549	34%
11	445	926	48%
12	0	0	-
1	0	0	-
2	0	0	-
3	0	0	-
計	4,873	13,228	37%

#### ■豊浦総合運動施設キャンプ場

月	R 2年度	R 1年度	前年比
4	2	40	5%
5	16	90	18%
6	45	133	34%
7	36	84	43%
8	85	163	52%
9	26	208	13%
10	12	347	3%
11	0	28	0%
12	0	0	-
1	0	0	-
2	0	0	-
3	0	0	-
計	222	1,093	20%

紫雲寺地区公民館受託施設

■五ヶ字運動広場

月	R 2年度	R 1年度	前年比
4	179	370	48%
5	260	528	49%
6	351	458	77%
7	318	472	67%
8	256	415	62%
9	319	297	107%
10	349	162	215%
11	225	341	66%
12	88	133	66%
1	0	0	-
2	0	0	-
3	288	69	417%
計	2,633	3,245	81%

■大島体育館

月	R 2年度	R 1年度	前年比
4	38	594	6%
5	15	297	5%
6	116	199	58%
7	252	497	51%
8	153	139	110%
9	178	183	97%
10	170	220	77%
11	322	572	56%
12	319	332	96%
1	361	353	102%
2	376	338	111%
3	400	0	-
計	2,700	3,724	73%

加治川地区公民館受託施設

■加治川地区体育館

月	R 2年度	R 1年度	前年比
4	355	1,146	31%
5	102	1,446	7%
6	763	1,602	48%
7	1,092	1,440	76%
8	1,146	1,380	83%
9	987	1,226	81%
10	1,774	1,944	91%
11	1,779	3,169	56%
12	1,353	1,990	68%
1	924	1,329	70%
2	1,155	1,363	85%
3	1,402	0	-
計	12,832	18,035	71%

■加治川地区屋外運動場

月	R 2年度	R 1年度	前年比
4	39	106	37%
5	59	502	12%
6	111	65	171%
7	169	333	51%
8	194	56	346%
9	348	318	109%
10	325	353	92%
11	170	66	258%
12	22	0	-
1	0	0	-
2	0	0	-
3	177	101	175%
計	1,614	1,900	85%

■大天城公園野球場

月	R 2年度	R 1年度	前年比
4	61	440	14%
5	101	253	40%
6	253	432	59%
7	394	574	69%
8	148	182	81%
9	286	390	73%
10	335	258	130%
11	116	87	133%
12	0	0	-
1	0	0	-
2	0	0	-
3	0	0	-
計	1,694	2,616	65%

■大天城公園テニスコート

月	R 2年度	R 1年度	前年比
4	40	124	32%
5	45	103	44%
6	138	84	164%
7	84	95	88%
8	126	87	145%
9	88	84	105%
10	112	47	238%
11	88	51	173%
12	0	0	-
1	0	0	-
2	0	0	-
3	0	0	-
計	721	675	107%

## 2.4 令和2年度市民文化会館事業実績

### (1) 自主事業入場者数

(単位：人)

公演名	H28	H29	H30	H31	R2
文化創造事業	4,625	4,693	4,415	4,544	912
教育鑑賞事業	12,499	12,651	10,200	10,997	904
(うち小・中学校教育鑑賞事業)	(7,582)	(7,642)	(7,565)	(7,493)	中止
全国「花嫁人形」合唱コンクール	1,204	1,250	1,006	1,016	中止
	18,328	18,594	15,621	16,557	1,816

### (2) 大ホール、一階ホール、各部屋の使用状況

大ホール	H28	H29	H30	H31	R2
使用日数(日)	154	160	149	127	49
使用件数(件)	375	404	380	319	121
使用可能日数(日)	329	307	299	287	254
使用日率(%)	46.81	52.12	49.83	44.25	19.29
使用件数率(%)	37.99	43.87	42.36	37.05	15.88
入場者数(人)	54,141	54,802	44,941	39,335	7,431

※使用件数率・・・使用件数÷(使用可能日数×3)×100

一階ホール	H28	H29	H30	H31	R2
使用日数(日)	121	139	125	107	44
入場者数(人)	6,189	6,392	4,569	4,018	750

		H28	H29	H30	H31	R2	
練習室1	使用件数(件)	472	595	544	493	256	
	使用者数(人)	4,850	5,161	4,994	4,017	1,397	
練習室2	使用件数(件)	510	574	564	527	315	
	使用者数(人)	4,570	3,996	4,619	4,148	2,118	
練習室3	使用件数(件)	376	410	339	301	142	
	使用者数(人)	5,969	5,353	5,451	4,209	1,377	
旧中央公民館施設	講堂	使用件数(件)	315	298	321	224	235
		使用者数(人)	7,575	7,831	8,686	4,221	2,477
	会議室	使用件数(件)	310	311	286	302	345
		使用者数(人)	5,443	5,217	5,898	2,713	2,253
	講義室	使用件数(件)	309	295	246	193	201
		使用者数(人)	4,348	3,928	5,126	1,846	1,429
	工作実習室	使用件数(件)	369	333	340	292	285
		使用者数(人)	3,211	4,082	2,653	2,115	1,608
	美術実習室	使用件数(件)	324	282	287	282	233
		使用者数(人)	4,297	6,226	5,276	2,742	1,493
	調理実習室	使用件数(件)	77	71	79	46	65
		使用者数(人)	762	532	659	591	220
	和室1～3	使用件数(件)	818	829	744	645	1,113
		使用者数(人)	12,169	14,599	9,362	7,216	8,347
	合計	使用件数(件)	3,880	3,998	3,750	3,305	3,190
		使用者数(人)	53,194	56,925	52,724	33,818	22,719

※使用件数・・・各使用区分(午前・午後・夜間)をそれぞれ1件として算出。全日使用=3件

※講堂・会議室・講義室・工作実習室・美術実習室・調理実習室・和室1～3は令和2年度から市民文化会館

## 25 青少年健全育成センター等施設一覧

施設名	所在地	電話番号	備考
青少年健全育成センター 児童センター	緑町2-6-36	26-0897	
紫雲寺児童館	稲荷岡2371	41-3114	
加治川児童館	川口128-1	39-6016	
住吉児童クラブ	住吉町5-4-25	24-5398	
住吉第2児童クラブ	住吉町5-4-25	22-3860	
東豊児童クラブ	東新町4-10-34	22-2376	
東豊第2児童クラブ	東新町4-10-34	22-5152	
こうぬま児童クラブ	緑町2-6-36	24-5783	
外ヶ輪児童クラブ	中央町5-8-9	22-3310	
五十公野児童クラブ	五十公野4930-1	26-8311	
猿橋児童クラブ	中曽根町3-8-29	22-3314	猿橋小学校敷地内建物1階
猿橋第2児童クラブ	中曽根町3-8-29	22-5353	猿橋小学校敷地内建物2階
御免町児童クラブ	大栄町4-5-6	26-0473	
御免町第2児童クラブ	大栄町4-5-33	22-3666	
御免町第3児童クラブ	大栄町4-5-17	22-4811	御免町幼稚園内
佐々木児童クラブ	則清956-1	27-1939	
七葉児童クラブ	黒岩722	29-2241	
紫雲寺児童クラブ	稲荷岡2371	41-3114	紫雲寺児童館に併設
加治川児童クラブ	川口128-1	39-6016	加治川児童館に併設
松浦児童クラブ	法正橋676	23-0313	
豊浦児童クラブ	大伝465-2	22-2411	
川東児童クラブ	下羽津1938	25-3939	

## 2.6 青少年健全育成センター等利用状況

(1) 育成センター・児童センター・紫雲寺児童館・加治川児童館利用状況 (単位：人)

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
センター	22,865	31,012	29,531	24,204	21,221	21,657	20,135	20,982	11,788
紫雲寺	—	—	—	1,696	1,333	1,525	2,875	2,251	1,429
加治川	—	—	—	2,902	2,205	1,710	1,640	1,317	556
合計	22,865	31,012	29,531	28,802	24,759	24,892	24,650	24,550	13,773

(2) 児童クラブ登録児童数 (月平均) (単位：人)

	住吉	住吉第2	東豊	東豊第2	こうぬま	外ヶ輪	五十公野	猿橋	猿橋第2	御免町	御免町第2	御免町第3	佐々木	七葉	紫雲寺	加治川	松浦	豊浦	川東	計
H28	54	60	67	52	45	66	70	63	58	72	27	29	40	44	58	53	24	54	39	975
H29	59	71	66	65	59	54	71	83	75	51	34	36	40	52	54	53	35	52	42	1,052
H30	56	72	78	61	57	70	82	92	78	61	32	23	45	53	48	51	20	46	50	1,075
R1	62	83	76	63	66	73	76	95	77	47	30	34	47	51	39	51	16	48	52	1,086
R2	69	93	84	70	68	61	66	75	84	46	36	30	33	37	41	34	10	39	43	1,019

(3) 放課後子ども教室在籍児童数 (月平均) (単位：人)

	二葉	菅谷	外ヶ輪	猿橋	計
H28	23	24	—	—	47
H29	33	21	1	—	55
H30	31	15	8	8	62
R1	22	20	7	5	54
R2	21	17	6	5	49

## 2.7 補導活動の状況

(1) 補導活動による行為別・年度別指導数

年度	指導総数 (人)	主な指導状況 (人)							巡回日数 (日)
		声かけ	ゲーム場	喫煙	服装態度	危険個所遊び	交通ルール無視	その他	
H28	542	535	0	0	0	0	7	0	145
H29	335	322	9	0	0	0	4	0	141
H30	531	500	6	0	0	4	14	7	144
R1	583	546	0	0	0	0	3	34	134
R2	172	172	0	0	0	0	0	0	104

(2) 学校種別・年度別指導数

年度	小学校 (人)	中学校 (人)	高等学校 (人)	その他	割合 (%)			
					小学校	中学校	高等学校	その他
H28	297	148	88	9	54.8	27.3	16.2	1.7
H29	160	111	59	5	47.8	33.1	17.6	1.5
H30	368	96	58	9	69.3	18.1	10.9	1.7
R1	243	208	132	0	41.7	35.7	22.6	0.0
R2	144	21	4	3	83.7	12.2	2.3	1.8